

福岡県住宅供給公社

30周年記念誌

1965~1995

THE THIRTIETH ANNIVERSARY  
*1965~1995*

福岡県住宅供給公社 30周年記念誌



人に優しい町がある



# 福岡県住宅供給公社



『ふくおか』



# C O N T E N T S

祝 辞	福岡県知事	麻生 渡	4
あいさつ	福岡県住宅供給公社 理事長	池田 幸雄	5
創立30周年によせて	住宅金融公庫 福岡支店長	村田 豊	6

## BASIC

快適な暮らしを支える確かな住まいづくり



基本理念・基本方針	8
組織図	10
出資団体・評議員・役員・職員	11
業務案内	
分譲事業	12
賃貸事業	14
受託管理事業	16
再開発(建替)事業	18
広報活動	20

## FUTURE

供給から提案へ トータルな住環境の創造



創 造	24
共 生	28
先 進	32
情 熱	36

## HISTORY

一步一步着実に 豊かさとゆとりの実感



公社年表・社会の出来事	40
歴代役員一覧	56

## DATA

30年の実績



資料編	58-71
-----	-------

## 祝 辞

福岡県住宅供給公社が創立30周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

この間、本県の住宅行政の一翼を担い、その実施機関として多大な貢献をされてきたことに対し深く感謝の意と敬意を表します。

近年の住宅政策は、経済的社会的状況の成熟化、高齢化の進展、住宅への関心の多様化・高度化などにより、これまでの直接供給・支援を中心とする手法から、住宅市場全体を踏まえ、住宅・都市投資に関する各分野が適切にその役割を果たしていくように転換していくことが望まれています。

また、住宅そのものやその周辺環境の質的向上を主眼とする従来からの施策に加え、人口の定住化、住宅文化の振興、あるいは、地球レベルでの環境問題への対応など幅広い課題に的確に応えていくことも求められています。

このため、本県では、「いきいきとした暮らしを支える住宅・まちづくり」を理念とした福岡県住宅マスタープランを策定し、総合的な住宅政策を進めることとしています。

福岡県住宅供給公社におかれても、21世紀を展望して、その使命と役割を十分に発揮され、今後とも県民のニーズに対応した良質な住宅・住環境の供給に努めるようお願いするとともに、貴公社のますますのご発展を祈念いたします。

福岡県知事 麻生 渡



M E S S A G E F O R

30

## あいさつ

福岡県住宅供給公社は、昭和40年に制定されました地方住宅供給公社法に基づいて、その前身であります財団法人福岡県住宅協会を住宅供給公社として組織変更し、30周年を迎えました。

この間、福岡県の住宅政策の実施機関として良質で低廉な住宅の供給に取り組み、微力ながらも県下の住宅難の緩和に努めて参りました。

しかしながら、近年、居住水準が高まるとともに県民の皆さまの住宅や住環境に対するニーズは、非常に高度化・多様化しております。一方、当社が所有する約1万1千戸の賃貸住宅の一部については老朽化が著しく、また、現在の生活水準に適応できなくなったものもあるなど、快適で安全な住まいとは言えない状況となって参りました。

このため、県民の皆さまのために、21世紀を見据えた良質で安全な住宅・住環境を整え、ゆとりと豊かさが実感できるまちづくりや賃貸住宅の建替え等を積極的に推進し、県民の皆さまがより豊かなくらしを実現できるよう役職員が一丸となってその使命を果たして参りたいと決意を新たにしております。

創立30周年を機会に、県民の皆さまや福岡県をはじめ関係機関の皆さま方の永年にわたるご支援とご協力に対し深く感謝いたしますとともに、今後なお一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

福岡県住宅供給公社 理事長 池田 幸雄



## 創立30周年によせて

この度、福岡県住宅供給公社が創立30周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴公社は、昭和40年の設立以来、福岡県の住宅政策の一翼を担い、政策実施機関として常に邁進され、その先導的役割を果たされてきたことに深く敬意を表します。

この間の住宅事情は、戦後からの住宅不足に加え、高度成長に伴う都市圏での旺盛な住宅需要を中心とした「量」の時代から、居住水準向上を目指した「質」の時代へと大きく変化してきました。

そして今日では、長寿社会、環境問題、エネルギー制約の深刻化など社会の変化への対応と、これらを踏まえた「人」と「地球」にやさしい居住環境を重視した「住まいづくり・まちづくり」が求められる時代を迎えたといえます。

この状況下において、住宅金融公庫としては第七期住宅建設五箇年計画に基づき、平成8年度から政策誘導機能を強化し金利体系の改善をはじめとした諸制度の見直しを行い、良質な住宅ストック形成に資するよう努力して行く所存です。

貴公社におかれましても、今後とも地域に根ざした住まいづくり、まちづくりを一層進められ、当公庫とともに21世紀に向けた良質な住宅ストックの形成にご尽力いただくことを期待するものであります。

最後に貴公社の今後ますますのご発展を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。

住宅金融公庫 福岡支店長 村田 豊



MESSAGE FOR 30TH ANNIVERSARY

# BASIC



## 快適な暮らしを支える 確かな住まいづくり

大きな窓をいっぱいに開けると、さわやかな風がレースのカーテンを揺らした。ここが、一番好きな場所、そして自分が自分らしく過ごせる場所。インテリアは本当に好きなもの、必要なものしか置かない。シンプルだけどこだわりのある暮らし。今はこのスタイルが心地いい。

# IDENTITY

福岡県住宅供給公社の理念

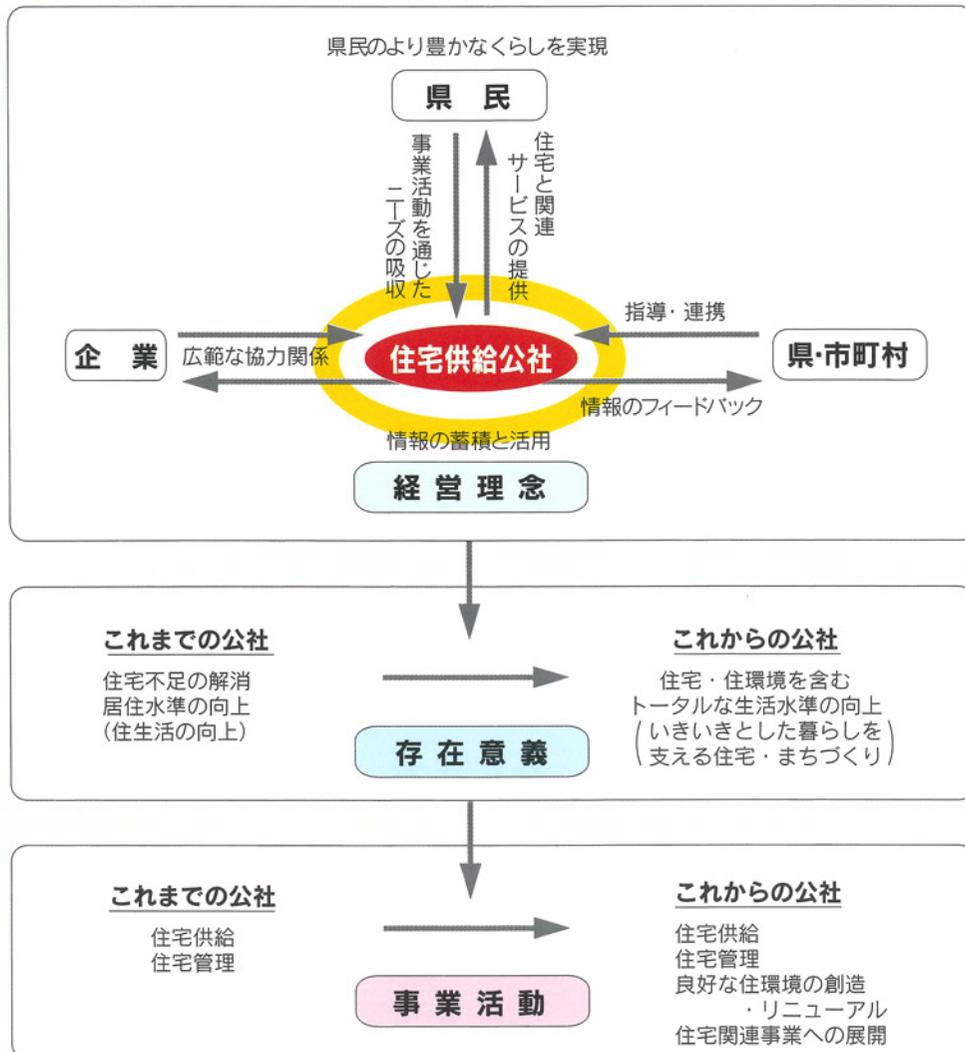
【 県民のより豊かなくらしの実現 】

福岡県住宅供給公社は、地方公共団体の住宅政策の実施機関としての役割を果たしながら、地域社会と手をたずさえ、良好な住環境を創造し、県民に良質で低廉な住宅を供給すること、及び住宅に関連するサービスを提供することによって、県民のより豊かなくらしを実現することを経営理念とします。

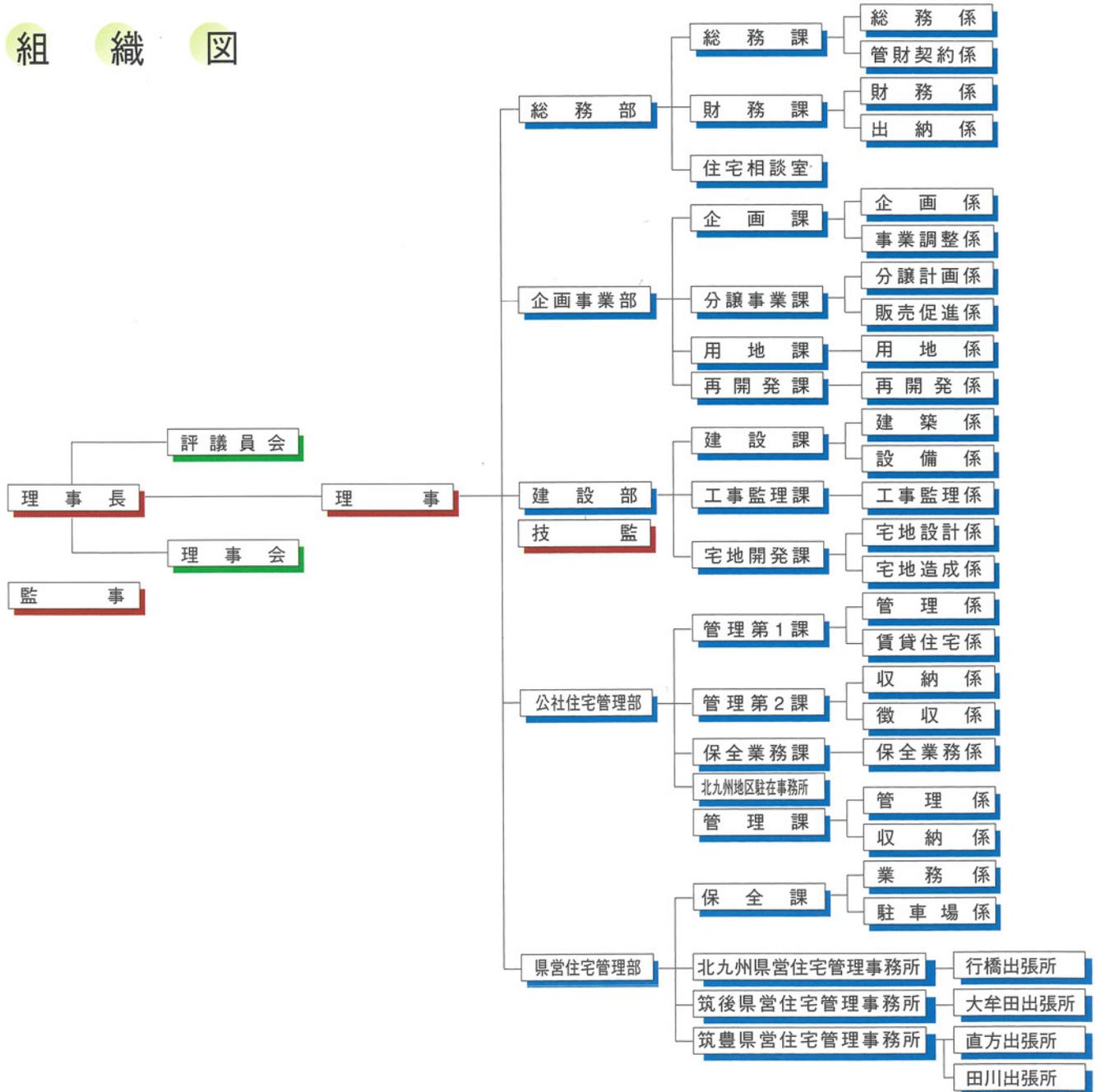
## 基本方針

福岡県住宅供給公社は、これまでの事業を通じて得た多様な経営資源を活用かつ拡充しつつ、住宅供給、住宅管理、良好な住環境の創造・リニューアル、住宅関連事業への展開を図ります。

### 経営コンセプト



# 組織図



## 出資団体

福岡県、北九州市、福岡市、  
久留米市、大牟田市、直方市、  
飯塚市

## 役員

理事長	池田	幸雄
副理事長	内村	明
〃	社本	孝夫
専務理事	皆川	善孝
〃	片山	繁文
理事	渡辺	昇
〃	田中	淳
〃	清本	隆敏
〃	末藤	洋
監事	上田	敏晴
〃	太田	清忠
〃	白石	勝洋

## 評議員

藏内	勇夫	福岡県議会議員
若狭	春次	〃
三田村	統之	〃
佐伯	公明	〃
深見	保正	福岡県商工部長
川村	秀三郎	福岡県農政部長
大石	明	福岡県労働部長
辻	勝成	福岡県土木部長
岡山	昌裕	福岡県保健環境部環境整備局長
井上	研一郎	福岡県建築都市部建築都市管理課長
山本	清	福岡県建築都市部建築指導課長
野村	安広	住宅・都市整備公団九州支社長
渋江	侑広	住宅金融公庫福岡支店長
栗原	孝	大牟田市長
有吉	威	直方市長
田中	耕介	飯塚市長
田中	範隆	筑紫野市長
佃	亮二	福岡銀行取締役頭取
古賀	誠二	西日本銀行取締役頭取
四島	司	福岡シティ銀行取締役頭取
渡部	祐資	九州銀行取締役頭取

## 職員

職名	現員	事務職員		技術職員	
		公社職員	援助職員	公社職員	援助職員
部長	6人	2人	1人	-	3人
次長	7人	4人	-	3人	-
課長・調査役・参事	33人	13人	5人	14人	1人
係長・副参事	17人	8人	3人	3人	3人
主事	15人	3人	12人	-	-
技師	5人	-	-	-	5人
計	83人	30人	21人	20人	12人
嘱託職員等	54人	47人		7人	

平成8年3月31日現在

# 分譲事業

当社が事業主体となり住宅を供給する分譲事業においては、独自の制度である積立分譲住宅をはじめとして、一般分譲住宅、宅地分譲のシステムがあります。当社は、県民の皆さまの住宅取得促進のために、昭和61年に創設された地域特別分譲制度（現在の地域優良分譲住宅制度）を活用して、住宅金融公庫融資の優遇と福岡県の利子補給など、持ち家取得の際の負担を軽減することにより、県民の皆さまの住宅購入をお手伝いしています。



## 豊かで快適な住まいづくり

当会社では、ライフスタイルや家族構成の変化に伴い、時代に即応した住宅を、今日まで数多く県民の皆さまに供給してきました。そして、より個性的な住まいづくりを実現するために、従来の建売方式のほかに、購入者が希望のデザインや仕様等を選べるフリープランで建設する売建て方式を採用しています。さらに、夏は蒸し暑く冬は寒いという福岡県の気候、風土に適応した「ふくおか型住宅」や住水準向上のための住環境づくりを含めた「高規格住宅」、そして高齢化社会に対応し、きめ細かな配慮をした「すこやかハウジング仕様」などの普及にも努めています。

これからも豊富な経験とノウハウにより、ますます多様化する皆さまのニーズにお応えして、より豊かで快適な住まいづくりを進めていきたいと考えています。



### ■ 高齢化対応住宅

これから迎える高齢社会に対応し、お年寄りにやさしい住まいづくりをすすめています。10年先、20年先のことまで考えて、いろいろな工夫をほどこしています。たとえば、浴室や階段にはすべりにくい材料を使用したり、玄関、階段、トイレや浴室には手すりを設置しています。また、敷居の段差をなくしたり、突然気分が悪くなったときや手助けしてほしいときに、家人を呼ぶことができるコールボタンをトイレや浴室に設置するなど、きめ細かな配慮と安全性を実感できる住まいです。



# 賃貸事業

当社は設立以来、県内の公営住宅、公団住宅と並ぶ住宅政策の重要な担い手として、住宅に困っている中間所得者の皆さまに低家賃の賃貸住宅を供給してきました。物質的に満たされた生活となった現在、本当の豊かさが住宅環境にも求められていると同時に、本格的な高齢社会の到来に備え、住宅設備の改善、向上も不可欠なものとなってきています。

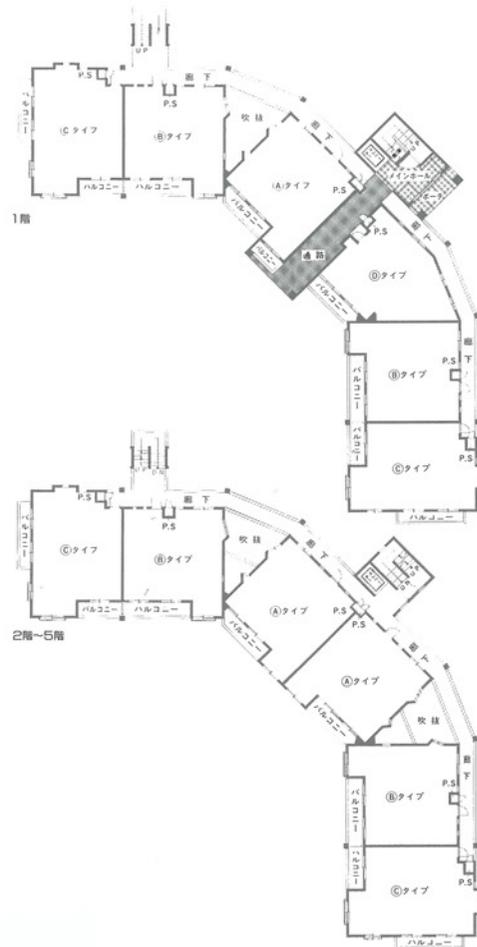
当社は、県民の皆さまの生活環境の向上のために、良質な住宅ストックの形成にたゆみない努力を続けていきます。



## 特定優良賃貸住宅事業

良質な賃貸住宅に対するニーズが大きい中間所得者の皆さまに、国と県が建設費や家賃の一部を助成し、入居者の家賃負担を軽減する制度を活用した賃貸住宅です。

当会社では、初めての特定優良賃貸住宅を平成6年度に向山（京都郡苅田町）で取り組み、現在2団地、54戸の管理を行っています。



# 受託管理事業

公営住宅の維持管理運営は人手と費用を要する業務であるため、都道府県では住宅供給公社に公営住宅の管理を委託しているところが多くなっています。福岡県でも、すでに当公社が県営住宅管理業務を受託し、賃貸住宅の入居者の募集から入退去、家賃の収納、また、駐車場、付帯施設や土地建物の管理・保全など総合的な管理を行っています。



## 県営住宅保全・管理受託事業

当社は、昭和51年に県営住宅の一部の保全業務の受託を手がけ、さらに平成6年には全県営住宅の管理、保全業務を受託しました。

当社では、入居者の皆さまが安心して暮らせるよう、より良いサービスの提供と住宅団地の良好な環境保全の維持、向上に努めています。

## 県営住宅駐車場、整備・管理受託事業

平成3年の車庫法改正に伴い、公営住宅の入居者のための駐車場設置が可能になったため、平成4年から県営住宅の駐車場の整備・管理を当社が行っています。

## ファミリー賃貸住宅建設受託事業

この事業は、民間の土地所有者が土地の有効活用のためアパート経営を行おうとする場合、当社と建設・譲渡契約を結び、住宅金融公庫からの融資により建物を当社が建設し、完成後ご本人に譲渡する方式です。

当社は、建設に伴う公庫及び関係機関への手続き並びに工事期間中の監理業務から完成後の引き渡しまで責任を持って行います。

平成3年度から始めたこの受託事業は累計で36団地、92棟、395戸となっています。



## 業務案内

当社が、昭和25年の設立以来、供給した賃貸住宅は約12,700戸。そのうち、約4,600戸が築後35年を経過しており、老朽、狭小、風呂なしなど現在の居住水準を満たしていないものも多く、早急に建替えを要する状況にあります。当社では、設立後、良質で低廉な住宅を供給し県民の住宅不足の解消に寄与してきましたが、今後計画的に建替えを進めることで、住環境の整備を行い、居住水準の向上をはかることにしています。

# 再 開 発 事 業

建  
替



## 時代の流れに合った住宅

建替えにあたっては、時代の流れに対応した現代のライフスタイルにふさわしい住宅にすることが必要です。

土地を有効に利用するための建物の高層化や十分な駐車場の確保、更には来るべき高齢化社会に備えて室内の段差をなくしたり、浴室に手すりを設けたりと「人にやさしい」住宅の提供が求められます。

また、潤いのある豊かな生活の舞台としての設備の充実は勿論のこと、ゆったりとくつろげるクオリティの高い住環境が求められています。

「住む」住宅から「暮らす」住宅へ —— 。

建替事業は快適な暮らしのライフ・ステージをお届けします。

一方、建替事業は現入居者の方々の協力なしには進めることができません。工事期間中の仮住まいや建替後の新住宅の家賃などについて、入居者の皆様のご理解とご協力を得ながら、事業を進めることが大切です。

当会社では最初の建替事業として、平成7年度に峰花台団地（福岡市中央区警固）の建替工事に着手いたしました。

■ 峰花台団地の建替前



■ 峰花台団地の建替後の完成予想図



当社の賃貸住宅の入居者の募集、分譲住宅などの募集にあたっては、より多くの県民の皆さまに知っていただくために、さまざまな広報活動を行っています。アクロス福岡の3階にはサービスコーナーを設け、常時PRに努めています。また、分譲住宅の募集にいたっては新聞折込チラシ、パンフレットはもちろん、関係市町村の窓口にもチラシをおいています。そして、テレビCM等も随時オンエアしており、住宅フェアでパネル展示をするなど積極的な活動を行っています。

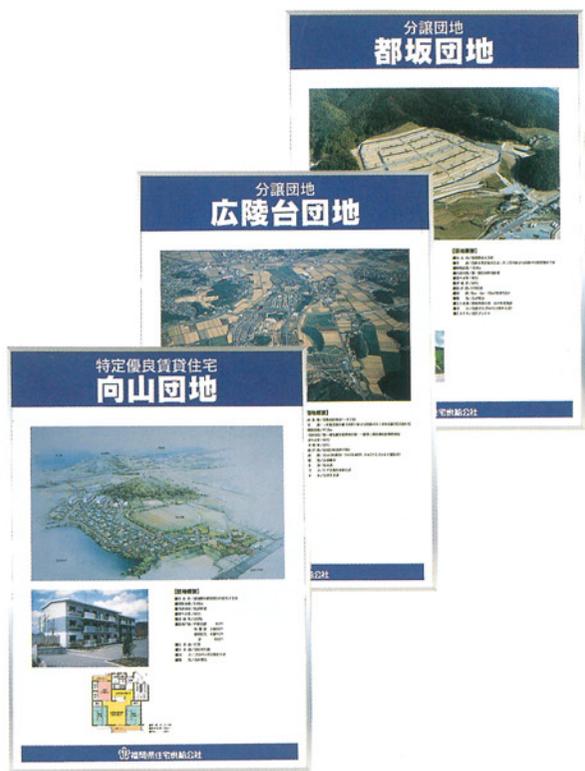


パンフレット類



TVコマーシャル

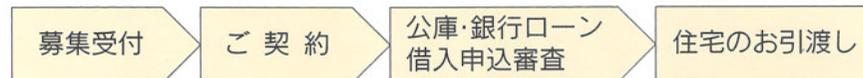
説明パネル





## ●分譲住宅・宅地分譲について

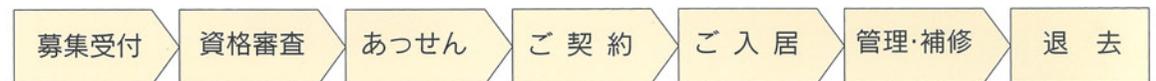
<主な事務フロー>



■お問い合わせ先：分譲事業課 092-781-8013

## ●公社賃貸住宅について

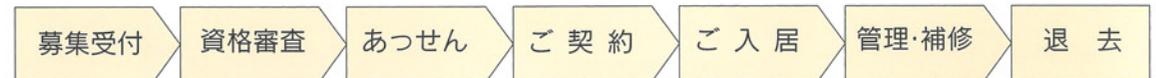
<主な事務フロー>



■お問い合わせ先：公社住宅管理部 092-781-8012

## ●県営住宅について

<主な事務フロー>



■お問い合わせ先：県営住宅管理部 092-781-8066

## ●県営住宅駐車場について

<主な事務フロー>



■お問い合わせ先：県営住宅管理部 092-781-8551

■なお、県営住宅、県営住宅駐車場に関するお問い合わせは次の当公社管理事務所等でも行っています。

アクロス福岡内サービスコナー	福岡市中央区天神1丁目1番1号	アクロス福岡3階	092-725-9081
北九州県営住宅管理事務所	北九州市八幡西区則松3丁目7番1号	八幡総合庁舎2階	093-691-5970
筑後県営住宅管理事務所	久留米市合川町2432番地3	久留米リサーチセンタービル4階	0942-30-2660
筑豊県営住宅管理事務所	飯塚市大字幸袋526番地1	福岡ソフトウェアセンター2階	0948-21-3232

FUTURE



## 供給から提案へ トータルな住環境の創造

晴れた日曜日には、近くの川のほとりを散歩する。のんびり釣り糸を垂れる人。ひなたぼっこをするおばあちゃんと子供。ここには、年代も暮らしのスタイルもいろいろな人達の顔がある。何が釣れるのか。魚のはいったバケツをのぞいてみる。ささやかだが、ほっとするふれあい。ここに暮らして良かったと思った。

# 創造

成熟化社会のニーズは、ゆとり、安全、快適さ、言い換えると「やすらぎ」というものに変化しています。それは住まいの面で言えば、一つの住空間というだけではなく、その外部空間までを含み、街のやすらかさを含めて考えていくということではないでしょうか。

当社は、生活の場であり、活動の場である街のトータルな「やすらぎ」の新たな創造に取り組んでいきます。

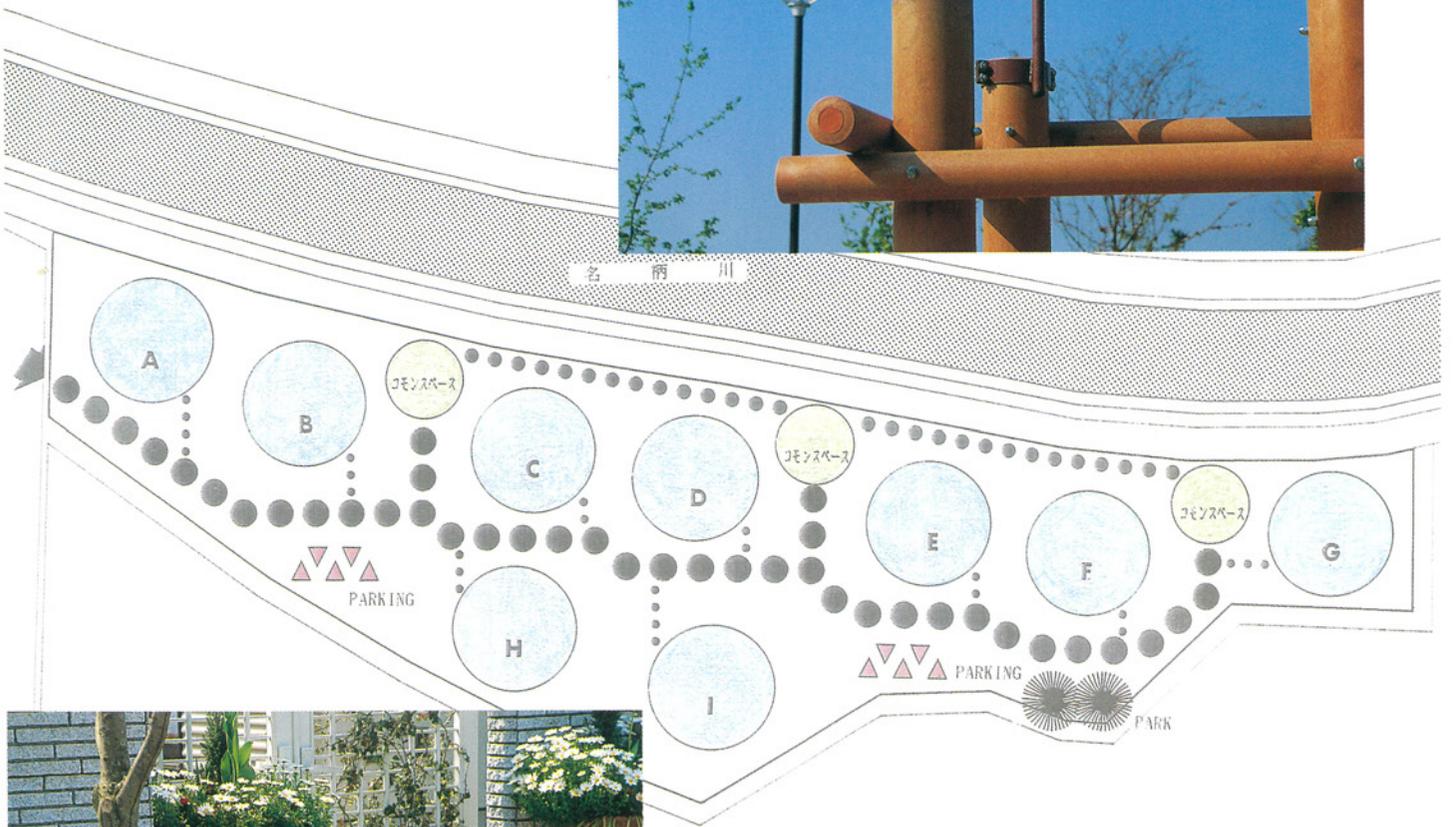




## やすらぎの創造

たとえば、夏の夕暮れ、駅からマイホームへ歩いて帰るとき、道路脇の樹木からは蟬の声が聞こえ、子供たちの遊びに興じる歓声が聞こえ、あちこちの家の台所からは夕食のいい匂いが漂ってくる。風が吹いて、木の葉のかさかさという音に、涼しさを感じほっとする。そんなときにやすらぎを感じるのではないのでしょうか。もしそうだとすると、やすらぎとは、季節感、風景、気候などの自然と周囲の人々との関係、そして家族などのさまざまなエレメントから成り立っているようです。やすらぐことのできる住宅とは、もちろんそこに住む人がくつろげるようなデザインであることも必要ですが、住まいの外部空間を無視しては成り立ちません。住まいの内部・外部空間の諸条件を考慮し、それをどのようにやすらぎへと結び付けるかが、21世紀へ向けて、当社に問われていることなのです。





F  
U  
T  
U  
R  
E

# 共生

今や、人生80年時代。日本は世界一の長寿国です。さらに、2020年には日本の老人人口の割合は全体の25.2%になると予想されており、その頃には4人に1人が老人という超高齢社会を迎えようとしています。このような社会に対応するため、当会社では高齢者向け住宅に重点を置き、誰もが安心して暮らせる快適な住環境づくりに努力しています。



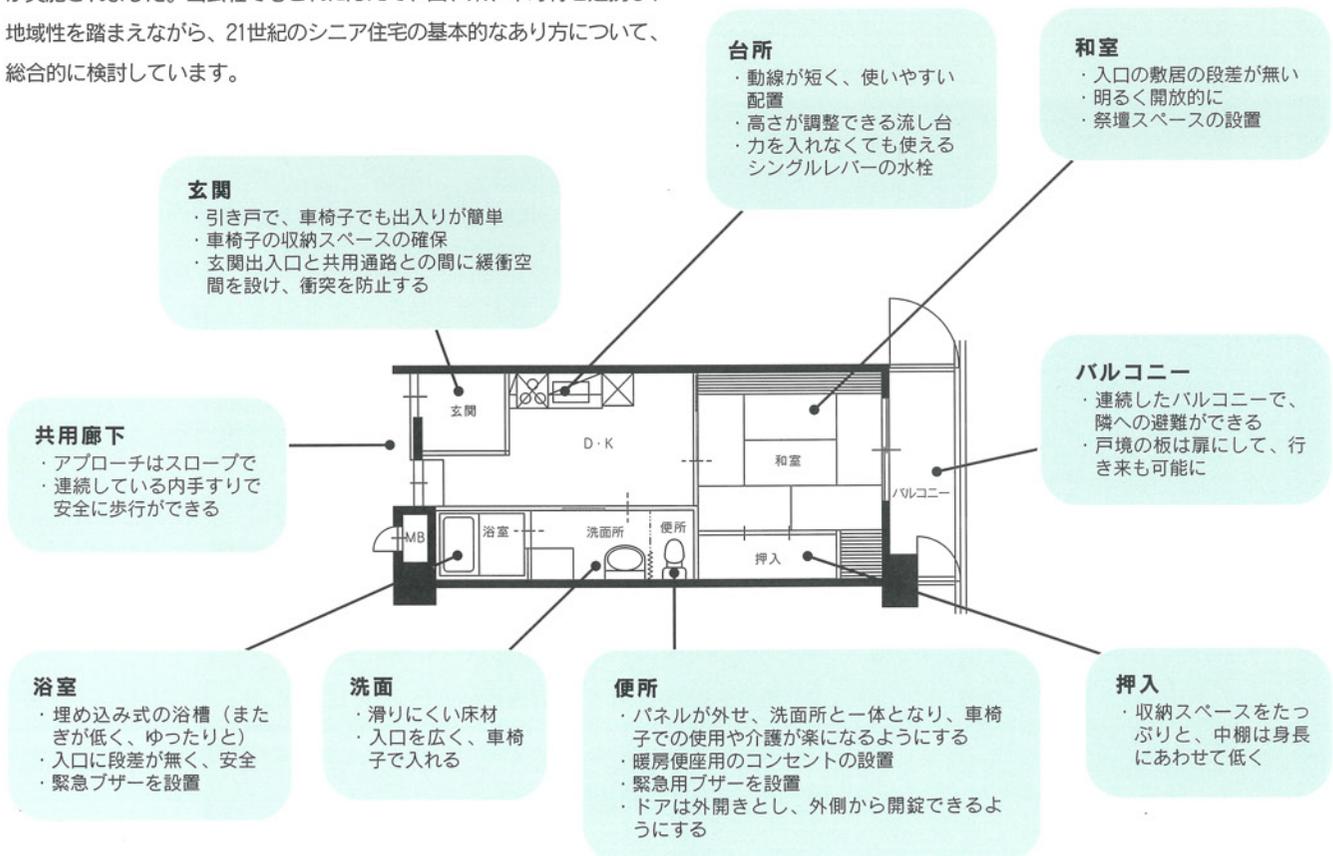


## 高齢化社会への対応

高齢化社会に対応し、今後、高齢者の住宅問題がますます重要な課題になると思われます。高齢者が健康で生きがいを持ち、安心して暮らすためには、まず居住の安定が大事です。そして高齢者向け住宅は、第一に安全を確保すること。家庭内での事故を未然に防ぐように、段差をなくし、手すりをつける配慮や、いざという時近くの人に身体の異常を知らせる緊急通報システムなどのホームセキュリティの設置など、自立した生活を送れる住まいづくりが必要です。また、高齢者が快適に暮らすための心配りも欠かせません。例えば照明の明るさも、年齢が増すほどムラやチラツキのない十分な明るさが必要となります。さらに高齢者に介護が必要になった時に医療施設や福祉サービス等との連携を含め、幅広く対応できる新しいタイプの住宅が求められており、当公社でも、快適な高齢者向け住宅の実現に向けて積極的に取り組んでいます。

### <シニア住宅供給推進事業>

近年、国の住宅政策として、高齢者向け世帯への対策が積極的に進められています。そして、平成2年より「シニア住宅供給推進事業」が実施されました。当公社でもこれに応じて、国、県、市町村と連携し、地域性を踏まえながら、21世紀のシニア住宅の基本的なあり方について、総合的に検討しています。



## 国際化と共生

福岡県は、古くからアジア諸国との交流が盛んなところです。今や、アジアに開かれた九州の玄関口として、大きな役割を果たしています。このように国際化が進むにつれ、県内に在住する外国人も増えてきました。しかし、在日外国人に対する住宅の整備は必ずしも満足できる状態とは言えません。というのは、人数が増えたとはいえ、まだ少数であることと、出身国が違えば住宅に対するニーズが異なり、それぞれのニーズに応えるのが難しいこと。そして、生活習慣の違う外国人を対象とする住宅の建設は、管理面などで困難なことが予想されるため、なかなか民間企業ではすすめられないというのが現状です。県内には、韓国、台湾、中国を始めとするアジア諸国や、アメリカ、ヨーロッパから多くの人々が訪れ暮らしています。言葉も慣習も違う日本に住む人達が、安心して快適に暮らせる住宅を整備することは、当社の務めだと考えています。



## 自然との共生

部屋に一輪でも花が咲いていると心が安らぐように、自然に親しむことは生活に潤いを与えてくれます。暑い夏には、さわやかな風が吹き抜けるような、寒い冬には、自然の光をたっぷり取り入れられるような家づくり。家の中においても、四季を感じながら快適に暮らすというのは、メンタルな部分でも人にとって必要なことなのかもしれません。しかし、自然との共生は、家の中だけのことではなく、周囲を取り巻く環境においてもとても大切なことです。子供たちが、のびのびと元気に育つ街。そのためには、自然とうまく調和した街であること。豊かな自然と触れ合うことは子供たちのやさしい心を育むうえでも重要です。誰もが快適に暮らせるよう、当会社では、豊かな緑など周辺の自然環境をうまく活かしながら、これらと調和した街づくりをすすめています。



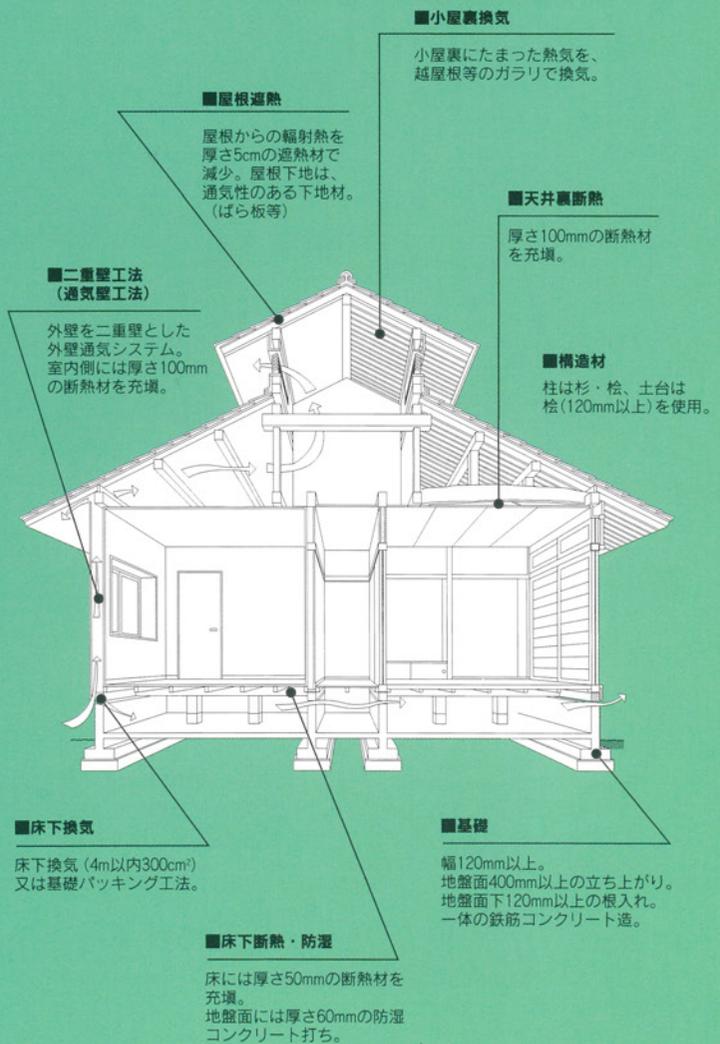
# 先進

もうすぐ21世紀。近未来の住宅は、どのように変わっているのでしょうか。さらに、機能性、利便性、快適さを追求した住宅になっていることでしょう。パソコンのインターネットの利用も広まり、想像以上に便利な暮らしが実現しているかもしれません。そして、環境のことも広く考えて自然エネルギーを利用した住宅など、今より一歩進んだ住宅。これからどんな暮らしが待っているのか、考えただけでもわくわくしませんか。



## <ふくおか型木造住宅>

福岡は、夏は蒸し暑く、冬は寒いという、典型的な日本海型の気候です。このような福岡の土地柄に合わせて昭和63年に「ふくおか型木造住宅」が開発されました。平成3年に粕屋郡古賀町千鳥パークタウン内にモデル住宅として建設、その年の夏に室内環境測定が行われ、遮熱性、断熱性、通気性に優れているという検証結果が出ました。現在、当会社ではこの「ふくおか型住宅」の普及に努めています。



## 自然のエネルギーを取り入れた暮らし

自然の風や光をうまく暮らしに取り入れる住宅から、さらに一歩進んで、自然を積極的に活用する住宅へと、私達の暮らしと自然の関わりかたも変わりつつあります。そのひとつが、太陽、雨などの自然エネルギーを有効利用した省エネルギー住宅です。たとえば太陽光を活かすためには、屋根に取りつけた太陽光発電パネルで動力として用います。具体的には、庭の草木の散水ポンプやエントランスの夜間照明などに。また、雨水は雨水貯水槽に貯めて、小規模の水力発電をしたり、貯めておいた雨水を利用して、中庭などの噴水や、ちょっとしたせせらぎをつくって憩いのスペースにしたり。樹木などの散水用にも使えます。このように、太陽光や雨水は、アイデア次第で、もっと、もっといろいろな活用ができるはず。環境のことも考えた住まいは、そこに暮らす人にも、きっと快適でやさしい住まいだと思います。



## コンピュータのある先進の暮らし

マルチメディアやインターネットなどコンピュータの世界は急速に発展し、私達の生活に、より身近なものになってきています。これからは、さらに進歩し21世紀の私達の生活には、コンピュータはなくてはならないものになっているかもしれません。最近では、テレビ、エアコン、電子レンジ、洗濯機などの住宅機器のすべてにコンピュータを組み込み、統一したシステムでコントロールする住宅の研究もすすめられています。未来の住宅は、たとえば、電話1本で外出先から暖房のスイッチを入れて、あらかじめ部屋を暖めておいたり、帰ったらお湯が沸いていて、入浴の準備ができていたり。コンピュータによって、室内の温度、湿度管理や、窓の開閉、照明の明るさの調整などを行うことで、そこに暮らす人の健康の管理までできるようになるかもしれません。このように便利で快適な暮らしが実現するのも、意外と近い未来のことなのかもしれません。



# 情熱

## 未来へのメッセージ

あと数年で21世紀を迎えようとしています。近未来、例えば2010年には、私たちはどのような暮らしをしているのでしょうか。仕事のスタイルは？自然環境は？わずか十数年先のことなのに、想像力は大きくふくらみます。

そこで、仕事、住宅、福岡県のこと、社会のことなど、当社の職員が想像する2010年の姿を、インタビューしてみました。

### Q1

2010年にはあなたの仕事のスタイルはどのように変わっていますか。コンピュータ化の進み具合は？



総務部 財務課  
小関 昭夫

2010年には日本中に光ファイバー網が建設されるといわれている中、公開情報の学術利用を目的として開発された現在のインターネットよりもっと進んだ、動画、映像を含むマルチメディア情報を扱う、イントラネット又はGII(世界情報基盤)が開発されていく社会情勢の中で、当社のコンピュータ導入ももっと進み、情報社会に遅れない仕事のスタイルに変わっていくと思われまます。



公社住宅管理部管理二課  
田北 満雄

最近の情報化社会の変貌は、すさまじいものがあります。

「パソコン」「携帯電話」「P. H. S」「映像メディア」等、急速な普及は目をみはるばかりです。

21世紀は、予測はつきませんが、通信衛星から宇宙ステーションを基地とした情報通信社会へと転換することにより、更なる情報化社会の大変換があるでしょう。

21世紀に生きるものにとって、これらの恩恵を受け、拘束される新時代であるものと考えます。

### Q2

2010年には住宅はどのように変わっているのでしょうか。建材、工法、建築デザインなどは？



建設部 工事監理課  
木原 親敏

人口がピークの時代を迎え高齢化の進展による有料老人ホームの建設が盛んに行われているでしょう。

戸建住宅においては、デザイン・仕上げ材共に高級志向が強く、内外装材は新素材、例えばセラミックス・プラスチック・新金属材料等による研究開発が実現し、結露現象による問題は解消していると思います。また中水道の整備、自家発電機の開発、ホームエレベーターの常設、

設備機器においては床、壁、天井の裏側に置かれ室内空間から姿を消すと考えられます。

建設市場的には建て替え住宅の需要が増え、新築住宅は鈍化傾向にあり厳しい時代ではないでしょうか。



建設部 建設課  
井野口 正明

21世紀の当初には、余暇時代の到来と共に生活様式が多様化し、家族団らんの憩いの場としてパブリックスペースを重視する生活空間重視型住宅に変化しているのではないのでしょうか。また、太陽エネルギーの利用や雨水を水道水として利用するなど、自然環境と融和した省エネルギー型住宅や加速する高齢化社会に向けた、安全かつ快適な高齢者配慮型住宅のような、これらの要素を合わせ持つ、より優れた環境共生型住宅が普及していることでしょう。このため、住宅における諸問題を解消し、理想的な住宅供給の実現に努力したいと考えています。

### Q3 2010年には仕事の中身はどう変わっているでしょう。

現在公社では、業務の合理化効率化をめざしてOA化を進めています。少しずつ便利になっているようですが、便利になった分だけ他の仕事が増えるため、仕事が楽になったと言うよりも仕事の密度が濃くなったというのが実感です。2010年には、今よりもさらにOA化が進んでいるでしょう。願わくば、庶務は全て機械がやってくれて、私たちは、より専門的な知識や技術を修得し行えるような職場環境で仕事をしたいと思っています。



総務部 総務課  
高原 久



公社住宅管理部 保全業務課  
村上 隆春

2010年には機械化が進み、人間の暖かさがなくなり、効率化の追求のみが優先した組織となっているかもしれません。そう考えるとこわい気がします。仕事は人のため、人類の幸福のためにしたいと思いますが、そのためには総合知識を身につけて総合判断が出来るような組織にする必要があります、心安らかに全てを迎え入れたいと思っています。

### Q4 2010年には福岡県はどう変化しているでしょう。街の姿や、交通機関などは？

高齢化の波は、街づくり・交通体系にも大きな影響を与えていることでしょう。「人にやさしい」「高齢者にやさしい」がキーワードとなって、ケア付き住宅や生涯学習をセールスポイントにした地域文化施設、セカンドライフを楽しむ別荘感覚のシニア住宅などがもてはやされていることでしょう。交通においては九州新幹線のようにスピードアップが具体化する一方で、本来の「旅」を演出する「人にやさしい」交通が求められるでしょう。



企画事業部 再開発課  
中江敏博

“人が街の主役になる”—— そんな福岡を夢見たいですね。



企画事業部 分譲事業課  
江崎 温郎

国際空港の建設地問題が話題となっている今日、15年先の街の姿、交通機関の変化を建設地問題と絡めて考えてみると、仮に福岡空港が移転した場合、街並は高さ制限規制を緩和する方向へ進み、高層化されたビル街が形成されるでしょう。

交通機関は、空港へのアクセスを中心に現在の都市高速と九州自動車道の直結、地下鉄線の延長、外環状道路の開通など、県全体の移動がスムーズになり、都市機能が益々充実され、県全体が身近に感じられることでしょう。

### Q5 2010年には高齢者対策はどうなっているでしょう。



県営住宅管理部 保全課  
大久保 鐵雄

私は建築技術ですので、建築の観点から言えば、現在高齢者対策としては基本型の導入に取り組んでいるところです。2010年には誘導型の計画に及んでいるでしょう。私も、その時は民間人として建築に関わっていることでしょう。型にはまらず、真の高齢者対策に取り組み建築の未来の夢に役にたっていきたいと考えています。

このためには、21世紀に向け技術の向上を図っていかなければと、痛感しているところです。



公社住宅管理部 管理一課  
櫻井 二郎

日本の高齢者人口は、平成6年末で14%を越え、「高齢化社会」から本格的な「高齢社会」へと突入しています。

平成7年に、高齢者と勤労者世代に強制的に社会保険に加入してもらい、障害のある高齢者全てに、当然の権利としての社会福祉サービスを提供しようとする「公的介護保険」制度が国で表明され、平成9年から制度が発足予定との事、今後、急速に進む高齢社会の中で、公社においても高齢者及び障害者に十分配慮した設備機器の導入及び間取り設計を一般化するとともに、今後は、公的機関を中心とした開発の中で地域社会とタイアップしながら、高齢者等のコミュニケーションが容易に図られるような施設配置を積極的に推進していかなければならないと思います。

## Q6

### 2010年には自然環境はどう変わっているでしょう。住宅と自然の係わりは？

2000年を過ぎる頃から、国・地方公共団体の借金返済のため、また年金・健保の赤字補填のための新しい税制ができ、中若年労働者の可処分所得は50%を割り、彼らは働く意欲がますますなくなった。それでも税収の面で大勢に影響なく、日本の国全体が破産する可能性が高まっていた。国民もやっと目が醒めたが、もう打つ手がなかった。



企画事業部 用地課  
小山 哲芳

ところが、2005年に津軽海峡に無尽蔵な石油が発見され、一躍日本は世界一の産油国となり、国中に活気が生まれた。

地価とともに繁栄したことが虚栄であり、また自然への挑戦が誤りであったという『教訓』から、『自然と調和』が『日本国民の願い』となり、諸外国への援助も惜しまなかった。また、土地の私有が制限され後世に残すための『住宅と自然』、すなわち100年住宅が当然となった。

このように、2010年の日本を想像してみました。



建設部 宅地開発課  
池口 主税

『環境』は大気・水・土・生物などの自然物と公共施設、住宅・建築物などの人工物で構成され、人間の諸活動はこの様な『環境』を基盤として展開されています。人類が直面している最大の課題の一つは、地球規模の環境問題であり、地球温暖化やオゾン層の破壊、熱帯林の減少等が憂慮されます。このため、現在エネルギーの全消費量の約1/4を占め、今後ますますその伸が予想される住宅・建築物等の

分野における省エネ化を推進するとともに、自然エネルギーの活用、省資源、自然環境との親和などにも配慮した総合的な対策を講じていく必要があります。

21世紀には、環境に優しい、市街地及び住宅づくりを図る環境共生住宅市街地事業を行なっているでしょう。

※『環境共生住宅』とは —— 健康性・快適性・安全性に優れた高水準の居住環境を確保しつつ水循環や廃棄物のリサイクル、自然エネルギーの活用を含めたエネルギーの効率的利用、地域特性に即した工・構法など環境負荷を著しく低減するための創意・工夫を施した住宅。

## Q7

### 2010年には福岡の国際化は。外国の人々に対して住宅の問題はどのように解決されているでしょう。

国際化が進む日本としては、海外からの長期滞在や移住の方が、非常に多くなっていくものと思います。

そういう方々にとって、『住』は、最大の難問。この難問に対し、公社は最も身近な『住』を提供しています。ますます国際化が進展していくことに伴い、より多くの国の方々の利用希望者が増えていくことになるでしょう。

そういった国際化の要請に応えられるように、また、違和感なく住み良い『住』を多く提供できるように、より充実した体制が整えられることになるものと思います。



県営住宅管理部 管理課  
田原 雅子



企画事業部 企画課  
中村 浩

福岡は地理的にも、アジアに近接した位置にあり、これから21世紀にむかって、アジア諸国が益々の経済発展を遂げるに伴い、2010年には、福岡は国際流通拠点、並びに経済、文化のアジアにおける先導都市として国際化が進んでいると思われます。

外国の人々が、安心して快適に暮らせる住宅並びに環境の整備については、閉鎖的でない、開かれた共生社会を実現するために、住環境の整備や住宅管理方法の改革、国際コンペ等の採用など新しいシステムを模索すると共に行政と市民の協力を得て、生活様式、文化の形態の異なる人々と、楽しく共生できる住空間が実現されているのではないのでしょうか。

# HISTORY



## 一步一步着実に 豊かさとゆとりの実感

いつもより少し早く目覚めた朝は、お気に入りのカップでミルクティーを片手に外の景色を眺める。すると木の緑が少しずつ濃くなっていることや、空の青さが毎日違うことに気付く。自然を感じながら暮らすと、いつのまにか気持ちが豊かになってくる。なぜなら、人も自然の一部なのだから。

# HISTORY

## 1965-1968

### 1965

昭和40年

- 地方住宅供給公社法に基づき、財団法人福岡県住宅協会から、**福岡県住宅供給公社へ組織変更**
- 福岡団地（宗像郡福岡町）他2団地で計5棟、114戸の賃貸住宅の建設に着手
- 小笹（福岡市中央区）他16カ所計163人、188戸の産業労働者住宅、勤労青年共同宿舍の建設に着手
- 都府楼団地（太宰府市）他、計26.8haの用地取得



都府楼団地（太宰府市）

### 1966

昭和41年

- 福岡団地（宗像郡福岡町、総戸数745戸）、松山団地（福岡市城南区、総戸数139戸）、塚田団地（行橋市、総戸数43戸）、佃町団地（柳川市、総戸数28戸）、卸原団地（小郡市、総戸数49万戸）、以上新設5団地の戸建住宅の分譲を開始
- 松崎団地（福岡市東区）他3団地で計10棟、210戸の賃貸住宅の建設に着手
- 宮ノ上（福岡市早良区）他11カ所計202人、59戸の産業労働者住宅、勤労青年共同宿舍の建設に着手
- **木造分譲住宅の設計から現場監理までを実施**
- 乙金（大野城市）他、計24.8haの用地取得
- 都府楼団地 他2団地造成工事着工

公  
社  
の  
出  
来  
事

社  
会  
の  
出  
来  
事

- 3.6 山陽特殊鋼倒産（戦後最大の倒産）
- 3.18 ソ連の宇宙飛行士、初の宇宙遊泳に成功
- 5.19 国道3号線（三太郎国道）開通
- 10.21 朝永振一郎氏、ノーベル物理学賞を受賞
- 11.19 閣議、戦後初の赤字国債発行決定
- 12.14 日本OECD常任理事国に決定

- 2.4 全日空ボーイング727型機、羽田沖に墜落（死者133人）
- 3.5 BOAC旅客機富士山上空で空中分解（死者124人）
- 3.31 住民登録集計による総人口1億人突破
- 6.29 ザ・ビートルズ来日、武道館で公演
- 9.24 天草五橋開通
- 10.1 厚生年金基金制度創設
- 12.8 国鉄篠栗線篠栗トンネル開通（4,379m、当時九州最長）

1967

昭和42年

- 山内団地(飯塚市、総戸数180戸)、今山団地(大牟田市、総戸数126戸)、乙金団地(大野城市、総戸数84戸)、常用団地(筑後市、総戸数77戸)、都府楼団地(太宰府市、総戸数421戸)、五郎丸団地(久留米市、総戸数25戸)、宮床団地(田川郡糸田町、総戸数73戸)、みずほ団地(遠賀郡水巻町、総戸数275戸)、松ヶ岡団地(中間市、総戸数48戸)、相田団地(飯塚市、総戸数20戸)、福富団地(行橋市、総戸数56戸)、以上新設11団地の戸建住宅の分譲を開始
- 東福岡団地(宗像郡福岡町)、簀子団地(福岡市中央区)、松崎団地(福岡市東区)の新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 小笹団地(福岡市中央区)他3団地で計7棟、150戸の賃貸住宅の建設に着手
- 下和白(福岡市東区)他10か所で計324人、24戸の産業労働者住宅、勤労青年共同宿舎の建設に着手
- **分譲住宅に初めて、プレハブ住宅を採用**
- みずほ団地(遠賀郡水巻町)他、計34.2haの用地取得
- みずほ団地造成工事着工



みずほ団地(遠賀郡水巻町)

- 3.6 日本航空、世界一周線の営業開始
- 6.5 第3次中東戦争勃発
- 7.1 欧州共同体(EC)発足
- 7.8 西日本に集中豪雨(死者365人)
- 8.8 東南アジア5カ国が東南アジア諸国連合(ASEAN)結成
- 10.20 吉田茂元首相死去(10.31戦後初の国葬)

1968

昭和43年

- 菊池団地(三井郡大刀洗町、総戸数14戸)、桃山団地(前原市、総戸数103戸)、安武団地(久留米市、総戸数30戸)、天神団地(直方市、総戸数173戸)、以上新設4団地の戸建住宅の分譲を開始
- 小笹団地(福岡市中央区)でメソネット方式による4階建分譲住宅2棟の建設に着手
- 博多蔵本団地(福岡市博多区)他2団地で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 名島団地(福岡市東区)他4団地で計8棟、200戸の賃貸住宅の建設に着手
- 草場(福岡市東区)他8か所で計322人、75戸の産業労働者住宅、勤労青年共同宿舎の建設に着手
- **賃貸住宅(RC)の設計から現場監理までを実施**
- 花見団地(粕屋郡古賀町)他、計41.8haの用地取得
- 上白水団地 他3団地の造成工事着工



小笹団地  
(福岡市中央区)

- 4.1 西日本一帯にM7.7の地震
- 6.2 米軍板付基地のF4Cファントム機、九州大学構内に墜落
- 6.26 小笠原諸島、日本に復帰
- 7.1 郵便番号制スタート
- 10.17 川端康成氏、ノーベル文学賞を受賞
- 12.10 東京都府中市で3億円強奪事件発生

# HISTORY

## 1969-1972

### 1969

昭和44年

- 出雲団地(嘉穂郡筑穂町、総戸数61戸)、小郡松崎団地(小郡市、総戸数48戸)、花見団地(粕屋郡古賀町、総戸数159戸)、百合野団地(鞍手郡宮田町、総戸数42戸)、以上新設4団地の戸建住宅の分譲を開始
- 弓の馬場団地(福岡市城南区) 他3団地で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 須崎ビル(福岡市中央区) 他3団地で計9棟、355戸の賃貸住宅の建設に着手
- 篠栗(粕屋郡篠栗町) 他6カ所で計354人、27戸の産業労働者、勤労青年共同宿舍の建設に着手
- むさしヶ丘団地(筑紫野市) 他、計92.7haの用地取得
- 丸山団地 他8団地の造成工事着工

### 1970

昭和45年

- 上白水団地(春日市、総戸数43戸)、峰地団地(田川郡添田町、総戸数30戸)、有井団地(嘉穂郡庄内町、総戸数80戸)、蟹ヶ浦団地(飯塚市、総戸数28戸)、丸山団地(甘木市、総戸数91戸)、以上新設5団地の戸建住宅の分譲を開始
- 公社創立後、ニュー千早団地(福岡市東区、7階建224戸)、西新ビル(福岡市早良区、11階建96戸)の高層分譲マンションの建設に初めて着手、募集を開始
- 都府楼団地(太宰府市) 他1団地で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 多賀町団地(福岡市南区) 他4団地で計11棟、300戸の賃貸住宅の建設に着手
- 八田(福岡市東区) 他9カ所で計350人、58戸の産業労働者、勤労青年共同宿舍の建設に着手
- 都坂団地(筑紫野市) 他、計81.5haの用地取得
- 池の本団地 他3団地の造成工事着工



西新ビル  
(福岡市早良区)

### 公 社 の 出 来 事

### 社 会 の 出 来 事

- 1.18 東大紛争に機動隊が導入される
- 2.7 過激派学生、九大を占拠
- 4.14 福岡空港ターミナルビル竣工
- 6.10 経済企画庁、日本の43年GNPが自由世界で第2位と発表
- 6.12 日本初の原子力船「むつ」進水
- 7.20 米アポロ11号、月面着陸に成功、人類が月に立つ

- 2.11 日本初の人工衛星「おおすみ」打ち上げ成功
- 3.14 日本万国博覧会開幕(9.13まで、77カ国参加、6421万人が入場)
- 3.31 八幡・富士両製鉄が合併、新日本製鉄発足
- 3.31 日航機「よど号」ハイジャック事件
- 6.19 関釜フェリー(下関-韓国釜山間)就航
- 11.25 三島由紀夫クーデター事件(三島、割腹自殺)

1971

昭和46年

● **本社ビル落成**

- 宝城団地(小郡市、総戸数367戸)、久保団地(粕屋郡古賀町、総戸数247戸)、中鶴団地(中間市、総戸数278戸)、池の本団地(筑後市、総戸数56戸)、西牟田団地(筑後市、総戸数54戸)、以上新設5団地の戸建住宅の分譲を開始
- 原西団地(福岡市早良区、5階建72戸)、平尾ビル(福岡市中央区、10階建64戸)の分譲マンション募集を開始
- 安武団地(久留米市) 他5団地で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 舞松原団地(福岡市東区) 他5団地で13棟、400戸の賃貸住宅の建設に着手
- 紫団地(筑紫野市) 他4か所で計200人、16戸の産業労働者、勤労青年共同宿舍の建設に着手
- **公社初のPC版工法賃貸住宅建設**
- 中鶴団地(中間市) 他、計55.8haの用地取得
- 川子団地 他1団地の造成工事着工



宝城団地(小郡市)

1972

昭和47年

- 吉田団地(遠賀郡水巻町、総戸数65戸)で新規戸建住宅の分譲を開始
- 博多駅前ビル(福岡市博多区、10階建84戸)の高層分譲マンション募集を開始
- 安武団地(久留米市) 他1団地で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 高良内団地(久留米市) 他5団地で計13棟、400戸の賃貸住宅の建設に着手
- かすみヶ丘(福岡市東区) 他、計9.1haの用地取得



本社ビル

- 3.11 第一銀行と日本勧業銀行が合併調印(10.1第一勧業銀行正式発足)
- 3.29 東亜航空と日本国内航空が合併調印(5.15東亜国内航空正式発足)
- 5.14 群馬県の連続女性誘拐殺人で大久保清逮捕
- 7.1 環境庁発足
- 7.30 岩手県で全日空機と自衛隊機が空中衝突(死者162人)

- 1.24 グアム島の密林で元日本兵、横井庄一氏を発見、28年ぶりの帰国
- 2.3 札幌冬季オリンピック大会開催
- 2.19 連合赤軍による浅間山荘事件起こる
- 4.1 福岡市、政令指定都市となる
- 5.15 沖縄の施政権返還、沖縄県発足
- 6.11 田中角栄著「日本列島改造論」発表
- 11.5 上野動物園でパンダ公開

# HISTORY

## 1973-1976

### 1973

昭和48年

- **公社職員会館の建設に着手**
- 中の坪団地(嘉穂郡稲築町、総戸数75戸)で新規戸建住宅の分譲を開始
- 高良内団地(久留米市) 他3団地で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 小笹団地(福岡市中央区) 他5団地で計15棟、378戸の賃貸住宅の建設に着手
- 松崎(福岡市東区) 他2か所で計72人、18戸の産業労働者、勤労青年共同宿舎の建設に着手
- 頓野団地(直方市) 他、計62.7haの用地取得
- 大佐野団地 他2団地の造成工事着工

### 1974

昭和49年

- むさしヶ丘団地(筑紫野市、総戸数698戸)、川子団地(粕屋郡須恵町、総戸数50戸)、枝国団地(嘉穂郡穂波町、総戸数224戸)、以上新設3団地の戸建住宅の分譲を開始
- 福浜団地(福岡市中央区、5階建180戸)の分譲マンション募集を開始
- 下大利団地(大野城市) 他4団地で計15棟、390戸の賃貸住宅の建設に着手
- 舞松原団地(福岡市東区) 他3団地で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 多の津(福岡市東区) 他1か所計72戸の産業労働者、勤労青年共同宿舎の建設に着手
- **提携金融機関と提携住宅ローンを締結**
- 高雄団地(飯塚市) 他、計48.5haの用地取得
- 西長住団地造成工事着工

公  
社  
の  
出  
来  
事



むさしヶ丘団地  
(筑紫野市)

社  
会  
の  
出  
来  
事

- |                                    |  |
|------------------------------------|--|
| 2.14 円、変動相場制へ移行                    | 1.25 消費者物価20.4%の上昇、「狂乱物価」加速              |
| 4.6 国民の祝日法改正で、日曜日と重なる祝日は翌日を振替休日に決定 | 1.26 昭和天皇・皇后両陛下が金婚式                      |
| 8.8 金大中事件発生                        | 3.10 フィリピンのルパング島で、小野田寛郎元陸軍少尉を救出、30年ぶりの帰国 |
| 10.5 米空母ミッドウェー横須賀入港                | 5.4 堀江謙一氏、小型ヨット「マーメイド号」で単独無寄港世界一周に成功     |
| 10.23 江崎玲於奈氏、ノーベル賞を受賞              | 10.8 佐藤栄作元首相、ノーベル平和賞を受賞                  |
| 11.14 関門橋開通、全長1,068m東洋一の吊り橋        | 10.14 巨人軍長嶋茂雄選手現役引退                      |
| 11.2 オイルショックでトイレットペーパーパニック起こる      |  |

1975

昭和50年

- 日の里団地(宗像市、総戸数86戸)、高雄団地(飯塚市、総戸数100戸)、京手団地(柳川市、総戸数49戸)、以上新設3団地の戸建住宅の分譲を開始
- 高良内団地(久留米市) 他4団地で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 壱岐団地(福岡市西区) 他4団地で計12棟、350戸の賃貸住宅の建設に着手
- 多賀団地(福岡市南区) 他1か所で計100人の勤労青年共同宿舍の建設に着手
- 広陵台団地(宗像市) 他、計45.7haの用地取得
- 徳益団地 他2団地の造成工事着工



壱岐団地(福岡市西区)

1976

昭和51年

• 県営住宅保全業務受託

- 壱岐団地(福岡市西区、総戸数130戸)、野方台団地(福岡市西区、総戸数121戸)、上大利団地(大野城市、総戸数43戸)、大佐野団地(太宰府市、総戸数114戸)、愛宕団地(飯塚市、総戸数57戸)、中山団地(鞍手郡鞍手町、総戸数77戸)、新宮団地(粕屋郡新宮町、総戸数47戸)、本山団地(久留米市、総戸数77戸)、徳益団地(山門郡大和町、総戸数48戸)、以上新設9団地の戸建住宅の分譲を開始
- 六本松団地(福岡市中央区、9階建65戸)の高層分譲マンション募集を開始
- 高良内団地(久留米市) 他4団地で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 日豊団地(北九州市小倉南区) 他5団地で11棟、300戸の賃貸住宅の建設に着手
- 小田ヶ浦団地(中間市) 他、計31.8haの用地取得
- 田川中央団地 他1団地の造成工事着工



愛宕団地(飯塚市)

- 3.10 山陽新幹線、博多まで開通(東京ー博多間6時間56分)
- 4.30 ベトナム戦争終結
- 5.7 エリザベス英女王夫妻来日
- 6.16 佐藤栄作元首相、国民葬
- 7.19 沖縄国際海洋博覧会開催(51.1.18まで)
- 10.15 九電玄海原子力発電所、運転開始
- 11.1 福岡市内の路面電車、主要路線廃止

- 7.2 ベトナム南北統一、新生ベトナム社会主義共和国誕生
- 7.27 ロッキード事件で田中角栄元首相逮捕される
- 9.9 毛沢東中国主席死去
- 9.10 福岡市天神地下街完成(西日本初の本格地下街)
- 11.10 天皇在位50年記念式典、日本武道館で開催

# HISTORY

## 1977-1980

### 1977

昭和52年

- 津原団地(嘉穂郡穂波町、総戸数56戸)、徳久団地(筑後市、総戸数74戸)、田川中央団地(田川市、総戸数47戸)、以上新設3団地の戸建住宅の分譲を開始
- 壱岐団地(福岡市西区) 他6団地で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 福岡団地(宗像郡福岡町) 他4団地で15棟、400戸の賃貸住宅の建設に着手
- 多賀団地(福岡市南区) 他1か所で計60人の勤労青年共同宿舍の建設に着手
- 花鶴ヶ丘団地(粕屋郡古賀町) 他、計27.2haの用地取得

### 1978

昭和53年

- 花鶴ヶ丘団地(粕屋郡古賀町、総戸数50戸)、桜町団地(田川郡添田町、総戸数52戸)、以上新設2団地の戸建住宅の分譲を開始
- 東福岡団地(宗像郡福岡町) 他3団地で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 京町団地(筑紫野市) 他4団地で10棟298戸の賃貸住宅の建設に着手
- 三筑団地(福岡市博多区) で勤労青年共同宿舍60人の建設に着手
- 旭ヶ丘団地(遠賀郡岡垣町) 他、計30.8haの用地取得
- 竹の原団地 他2団地の造成工事着工

### 公 社 の 出 来 事



東福岡団地(宗像郡福岡町)

### 社 会 の 出 来 事

- |                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| 5.1 植村直己氏、単独北極点到達                    | 3.25 日本に電灯がついて100年めを迎える                            |
| 5.2 海洋法公布(200海里の漁業専管水域を規定、7.1施行)     | 4.21 日ソ漁業交渉妥結                                      |
| 7.14 初の静止気象衛星「ひまわり」米ケネディ宇宙センターから打ち上げ | 5.20 新東京国際空港(成田空港)機動隊1万人の厳戒の中で開港                   |
| 9.3 巨人軍王貞治選手756号ホームラン、世界記録を達成        | 5.20 福岡市、90年ぶりの異常小雨により時間給水始まる(54.3.25まで約300日の異常渇水) |
| 9.28 日本赤軍による日航機乗っ取り事件発生              | 7.1 日本人の平均寿命が世界一に(男72.69歳、女77.95歳)                 |
| 11.4 政府、第3次全国総合開発計画を決定(定住圏構想)        | 8.12 日中平和条約調印(10.23発効)                             |
| 12.26 チャップリン死去                       |  |

1979

昭和54年

- 浜の園団地(前原市、総戸数158戸)、小田ヶ浦団地(中間市、総戸数148戸)、旭ヶ丘団地(遠賀郡岡垣町、総戸数66戸)、常用団地(筑後市、総戸数48戸)、以上新設4団地の戸建住宅の分譲を開始
- 本城西団地(北九州市八幡西区)他4団地で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 星ヶ丘団地(中間市)他3団地で8棟、220戸の賃貸住宅の建設に着手
- ひまわり台団地(行橋市)他、計42.8haの用地取得
- 黒崎団地造成工事着工



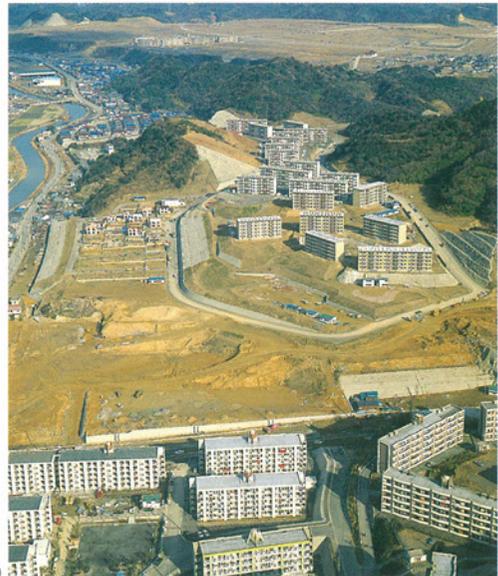
ひまわり台団地(行橋市)

- 1.13 国公立大学入試、初の共通一次テスト実施
- 5.3 英国首相にサッチャー女史就任
- 5.16 三菱夕張鉱業所でガス突出事故(死者16人)
- 6.19 自動車免許保有者4,000万人を超える
- 6.28 第5回先進国首脳会議(東京サミット)開催
- 12.12 国鉄のリニアモーターカー、日向市で時速504kmの世界新記録

1980

昭和55年

- 新山野団地(嘉穂郡稲築町、総戸数88戸)、竹の原団地(大牟田市、総戸数79戸)、高良内団地(久留米市、総戸数10戸)、以上新設3団地の戸建住宅の分譲を開始
- 壱岐団地(福岡市西区)で2棟、50戸の賃貸住宅の建設に着手
- 分譲住宅に2×4工法住宅採用建設
- おかの台団地(遠賀郡水巻町)他、計26.3haの用地取得



おかの台団地  
(遠賀郡水巻町)

- 7.19 第22回オリンピック・モスクワ大会開催、米日西独などがボイコット
- 9.9 イラン・イラク両軍が交戦状態に入る(9.22全面戦争に拡大)
- 10.13 地銀CD全国ネットスタート
- 12.8 元ビートルズのジョン・レノン、射殺される

# HISTORY

## 1981-1984

### 1981

昭和56年

- 高須団地(北九州市若松区、総戸数166戸)、ひまわり台(行橋市、総戸数30戸)、おかの台(遠賀郡水巻町、総戸数41戸)、猪倉団地(鞍手郡鞍手町、総戸数30戸)、黒崎団地(大牟田市、総戸数57戸)、以上5団地の戸建住宅の分譲を開始
- 分譲住宅にセレクト方式(平面仕上材等のユーザー選択)採用
- 街並み形成のため、外構工事を本格的に採用
- 鯉口団地(遠賀郡水巻町) 他、計25.3haの用地取得

### 1982

昭和57年

- 鯉口団地(遠賀郡水巻町、総戸数75戸)、西長住団地(福岡市南区、総戸数33戸)、山部中央団地(直方市、総戸数18戸)、貴船団地(田川郡糸田町、総戸数34戸)、以上4団地の戸建住宅の分譲を開始
- 星ヶ丘団地(中間市)で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 大板井団地(小郡市) 他1団地で5棟、100戸の賃貸住宅の建設に着手
- 渡瀬団地(三池郡高田町) 他、計14.6haの用地取得
- 広陵台団地 他1団地の造成工事着工

公  
社  
の  
出  
来  
事



鯉口団地(遠賀郡水巻町)

社  
会  
の  
出  
来  
事

- |                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| 1.1 民法・家事審判法改正施行、配偶者の遺産相続分2分の1に引き上げ   | 2.8 東京のホテルニュージャパン火災(死者33人)             |
| 2.23 ローマ法皇パウロ2世来日                     | 4.2 アルゼンチン軍、英領フォークランド諸島を占拠(4.25英軍反撃開始) |
| 3.2 中国残留孤児47人、初の正式来日                  | 6.14 フォークランド紛争終結                       |
| 4.22 福岡空港国際ターミナル開業(成田・大阪に次ぎ3番目)       | 6.23 東北新幹線(大宮ー盛岡間)開業                   |
| 7.26 全国で8番目の地下鉄、福岡市市営地下鉄1号線(天神ー室見間)開通 | 7.23 九州北西部を中心に集中豪雨、長崎市で死者・行方不明者299人    |
| 10.19 福井謙一氏、ノーベル化学賞を受賞                | 10.1 コンパクトディスク(CD)発売される                |
| 11.4 新福岡県庁舎完成                         | 11.15 上越新幹線(大宮ー新潟間)開業                  |

# 1983

昭和58年

- 花瀬団地(飯塚市、総戸数111戸)、宮の陣団地(久留米市、総戸数18戸)、以上新設2団地の戸建住宅の分譲を開始
- 紫第二団地(筑紫野市)で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 本城中央団地(北九州市八幡西区) 他2団地で4棟、90戸の賃貸住宅の建設に着手
- 本城中央団地(北九州市八幡西区) 他、計5.1haの用地取得



本城中央団地(北九州市八幡西区)

# 1984

昭和59年

- 渡瀬団地(三池郡高田町、総戸数12戸)、土手の内団地(中間市、総戸数11戸)、以上新設2団地の戸建住宅分譲を開始
- 星ヶ丘団地(中間市) 他1団地で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 本城中央団地(北九州市八幡西区) 他1団地で5棟、110戸の賃貸住宅の建設に着手
- **分譲住宅に完全メニュー方式を採用**
- うぐいす台団地(嘉穂郡筑穂町) 他、計18.0haの用地取得
- パークタウン春日造成工事着工



星ヶ丘団地(中間市)

- 2.4 日本初の実用静止通信衛星「さくら2号a」種子島宇宙センターから打ち上げ成功
- 4.15 千葉県浦安市に東京ディズニーランドオープン
- 5.26 日本海中部地震、秋田県沖でM7.7(津波で死者・行方不明者102人)
- 6.13 戸塚ヨットスクール校長、傷害致死容疑で逮捕
- 9.1 大韓航空機、ソ連領内で撃墜される、乗員乗客269人が行方不明
- 10.14 東北大で日本初の試験管ベビー誕生

- 1.18 三井三池・有明鉱で坑内火災(死者83人)
- 2.12 植村直己氏、世界初のマッキンリー冬季単独登頂に成功、下山途中で消息を絶つ
- 3.18 江崎グリコ社長誘拐事件発生、3.21保護(グリコ・森永事件の端緒)
- 10.31 インドのインディラ・ガンジー首相、暗殺される
- 11.1 新1万円札、5千円札、千円札発行
- 12.19 英中両国、香港返還協定に調印(1997年に発効)

# HISTORY

## 1985-1988

### 1985 昭和60年

- 公社創立20周年記念誌「人と家と愛」発刊
- パークタウン春日団地(春日市、総戸数42戸)、グリーントウン福岡団地(宗像郡福岡町、総戸数26戸)、蟻住団地(北九州市若松区、総戸数30戸)、うぐいす台団地(嘉穂郡筑穂町、総戸数74戸)、以上新設4団地の戸建住宅分譲を開始
- 本城中央団地(北九州市八幡西区) 他2団地で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 壱岐団地(福岡市西区)で2棟、40戸の賃貸住宅の建設に着手
- ひまわり台団地(前原市) 他、計1.9haの用地取得
- かすみヶ丘団地(福岡市東区)造成工事着工



かすみヶ丘団地(福岡市東区)

### 1986 昭和61年

- 本城中央団地(北九州市八幡西区、総戸数68戸)で新規戸建住宅分譲を開始
- 壱岐団地(福岡市西区)で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 壱岐団地(福岡市西区)で1棟、30戸の賃貸住宅の建設に着手



壱岐団地(福岡市西区)

公  
社  
の  
出  
来  
事

社  
会  
の  
出  
来  
事

- 1.9 北九州モノレール小倉線開業(日本初の都市モノレール)
- 1.26 山口組組長ら3人が一和会系組員に射殺される、以後対立が激化
- 3.16 科学万博つくば'85、筑波研究学園都市で開催(9.16まで、入場者2033万人)
- 4.1 日本電信電話(株)(NTT)、日本たばこ産業(株)(JT)発足
- 6.1 男女雇用機会均等法公布(61.4.1施行)
- 8.12 日航ジャンボ機が群馬山中に墜落(生存者4人、死者520人)

- 1.28 米スペースシャトル「チャレンジャー」打ち上げ直後に爆発
- 2.25 フィリピンのマルコス政権崩壊、アキノ政権発足
- 4.26 ソ連チェルノブイリ原発事故起こる
- 9.6 社会党委員長に土井たか子氏就任、日本初の女性党首誕生
- 11.21 伊豆大島三原山、209年ぶりの大噴火
- 12.29 昭和62年度防衛予算がGNP1%枠突破

1987

昭和62年

- ひまわり台団地(前原市、総戸数34戸)で新規戸建住宅分譲を開始
- 壱岐団地(福岡市西区)で2棟、40戸の賃貸住宅の建設に着手



ひまわり台団地(前原市)

1988

昭和63年

- 広陵台団地(宗像市、予定総戸数820戸)で新規戸建住宅分譲を開始
- 壱岐団地(福岡市西区)で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- 本城中央団地(北九州市八幡西区、総戸数68戸)で1棟、30戸の賃貸住宅の建設に着手



広陵台団地(宗像市)

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1.17 神戸市在住の女性、日本国内で初のエイズ患者と認定される</li> <li>2.4 国鉄のリニアモーターカー、有人走行で時速400.8kmの世界記録</li> <li>2.9 NTT株式初上場2,101,600円の初値</li> <li>4.1 国鉄分割・民営化、JRグループ7社発足</li> <li>5.28 西独の青年、セスナ機でソ連の赤の広場に着陸</li> <li>12.10 利根川進氏、ノーベル医学・生理学賞を受賞</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>3.13 青函トンネル開業(世界最長53.85km)</li> <li>3.17 東京ドーム完成</li> <li>4.10 瀬戸大橋開通(児島一坂出ルート31km)</li> <li>10.1 福岡ダイエーホークス発足</li> <li>7.23 横須賀沖で自衛隊潜水艦なだしおと釣り船が衝突(死者30人)</li> </ul> |
|--|--|

# HISTORY

## 1989-1992

### 1989

平成1年

- 県営住宅管理業務一部受託、北九州管理事務所を設置
- 大善寺ニュータウン(久留米市、総戸数56戸)で、新規戸建住宅分譲を開始
- 生松台団地(福岡市西区)他、計3.3haの用地取得



ふくおか型住宅(千鳥パークタウン内)

### 1990

平成2年

- 生松台団地(福岡市西区、総戸数99戸)、浅川学園団地(北九州市八幡西区、総戸数50戸)、第二旭ヶ丘団地(遠賀郡岡垣町、総戸数28戸)、以上新設3団地の戸建住宅分譲を開始
- 本城中央団地(北九州市八幡西区)で新築賃貸住宅の入居者募集を開始
- ふくおか型住宅を建設する
- 高齢者対応住宅(すこやかハウジング)段差のない住宅に取り組む
- 九州初の高規格分譲団地(フランネル壱岐)建設
- 換地ローンを大善寺ニュータウン(久留米市)で取り組む
- 保留地ローンを第二浅川団地(北九州市)で取り組む
- 住宅買替つなぎローンを提携金融機関と締結
- 新宮湊坂(粕屋郡新宮町)他、計11.9haの用地取得

公  
社  
の  
出  
来  
事

社  
会  
の  
出  
来  
事

- |      |                                |       |                     |
|------|--------------------------------|-------|---------------------|
| 1.7  | 昭和天皇崩御                         | 2.7   | ソ連、大統領制移行を決定        |
| 1.8  | 元号を平成と改元                       | 2.19  | ベルリンの壁撤去作業開始        |
| 2.22 | 佐賀県吉野ヶ里に弥生後期の集落跡を確認、吉野ヶ里ブーム起こる | 3.15  | ソ連初代大統領にゴルバチョフ議長が就任 |
| 3.17 | アジア太平洋博一福岡'89「よかとピア」開催(9.3まで)  | 4.22  | スペースワールドが北九州市にオープン  |
| 6.4  | 中国で天安門事件発生                     | 6.29  | 礼宮文仁親王と川嶋紀子さんの結婚の儀  |
| 11.9 | 東独、ベルリンの壁を解放                   | 9.9   | 第45回とびうめ国体開催        |
|      |                                | 10.3  | 東西ドイツ統一達成           |
|      |                                | 11.17 | 雲仙普賢岳が198年ぶりに噴火     |

1991

平成3年

- 賃貸住宅家賃収納、管理等に電算システム導入
- 千鳥パークタウン団地(粕屋郡古賀町、総戸数16戸)、新宮湊坂団地(粕屋郡新宮町、予定総戸数70戸)、以上新設2団地の戸建住宅分譲を開始
- 東郷大井(宗像市)他、計11.0haの用地取得
- 都坂団地(筑紫野市)他1団地の造成工事着工



新宮湊坂団地(粕屋郡新宮町)

1992

平成4年

- 県営住宅駐車場整備業務受託
- 日豊団地(北九州市小倉南区、総戸数28戸)、えのき台団地(八女市、予定総戸数118戸)、以上新設2団地の戸建住宅分譲を開始
- 上津藤光ニュータウン(久留米市)他、計9.1haの用地取得



えのき台団地(八女市)

- 3.25 博多一釜山間にジェットフォイル就航
- 6.3 雲仙普賢岳で大火砕流発生(死者・行方不明者37人)
- 6.9 フィリピンのピナツポ火山、今世紀最大の爆発
- 7.10 ロシアの初代大統領にエリツィン氏が就任
- 9.27 台風9号が、九州・中国・東北を中心に大被害をもたらす
- 12.8 ソビエト連邦崩壊(12.25ゴルバチョフ大統領辞任)

- 3.25 佐世保市郊外にハウステンボスオープン
- 3.15 国連カンボジア暫定統治機構(UNTAC)正式始動、明石康氏が代表に
- 6.5 国連平和維持活動(PKO)協力法案、参議院で可決(6.15衆議院で可決)
- 9.12 毛利衛さん、米スペースシャトル「エンデバー」で宇宙へ
- 9.20 PKO協力でカンボジアへ先遣隊を含め608人派遣
- 10.23 天皇后両陛下、史上初の中国訪問

# HISTORY

## 1993-1995

### 1993

平成5年

- 上津・藤光ニュータウン(久留米市、予定総戸数179戸)で新規戸建住宅の分譲を開始
- 向山団地(京都郡苅田町) 他、計4.4haの用地取得



向山団地 (京都郡苅田町)



峰花台団地  
完成予想図  
(福岡市中央区)

### 1994

平成6年

- 県営住宅管理業務全面受託、筑後・筑豊に管理事務所を設置
- 財務、給与、諸費業務、電算システム化完了
- 都坂団地(筑紫野市、予定総戸数173戸)で新規戸建住宅の分譲を開始
- 公社で初めての特定優良賃貸住宅として向山団地(京都郡苅田町)の建設に着手
- 賃貸住宅団地の峰花台団地(福岡市中央区)について建替基本構想を策定
- 福吉駅南団地(糸島郡二丈町) 他、計0.6haの用地取得



都坂団地 (筑紫野市)

公  
社  
の  
出  
来  
事

社  
会  
の  
出  
来  
事

- |                             |                                 |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 3.3 福岡市市営地下鉄空港線開通           | 3.1 輸入米の販売スタート                  |
| 4.2 福岡ドームオープン(日本初の屋根閉閉式ドーム) | 5.6 英仏間ドーバー海峡トンネル開通             |
| 6.9 皇太子徳仁親王と小和田雅子さん、御成婚の儀   | 6.27 松本市で有毒ガス発生事件(死者7人)         |
| 7.12 北海道南西沖地震、奥尻島に大被害       | 7.8 向井千秋さん、米スペースシャトル「コロンビア」で宇宙へ |
| 7.30 宮崎フェニックス・シーガイアオープン     | 7.20 佐賀県多久市で夜間断水、この後九州各地で断水始まる  |
| 12.14 コメ輸入部分開放へ、閣議決定        | 10.4 北海道東部地震発生(M7.9)            |
|                             | 10.13 大江健三郎氏、ノーベル文学賞を受賞         |

1995

平成7年

- アクロス福岡3階にサービスコーナー設置
- **公社創立30周年**
- 特定優良賃貸住宅の向山団地(24戸)の管理を開始
- 特定優良賃貸住宅としてグランヴィル高良内(久留米市)の建設に着手
- 賃貸住宅団地の篠崎団地(北九州市小倉北区)について建替基本構想を策定
- 建替事業の円滑な推進を目的として小笹(福岡市中央区)でリノベーション住宅39戸の建設に着手



小笹リノベーション住宅  
完成予想図



篠崎団地建替後完成予想図

- 1.17 阪神・淡路大震災発生(死者6,300余人)
- 3.20 地下鉄サリン事件発生
- 4. 9 青島幸男東京都知事、横山ノック大阪府知事誕生
- 5. 2 野茂英雄選手、ロサンゼルス・ドジャースで米大リーグ初登板
- 9. 6 フランス、ムルロア環礁で地下核実験強行
- 9.19 米兵の女儿暴行事件で、沖縄県知事が駐日米国大使に日米地位協定見直し要求

# 歴代役員一覽

	理事長		副理事長				専務理事			
	氏名	任期	氏名	任期	氏名	任期	氏名	任期	氏名	任期
S40	藤井 宏	S 36. 1. 7	桜井 喜文	S39. 8.25						
41	〃	S 42. 5.12	〃	S42. 9.15						
42	三宅 芳郎	S 42. 8.10	吉村 卓美	S42.10.20			穴井 英治	S42. 8.12		
43	〃		〃				〃			
44	〃		〃				〃			
45	〃		〃	S46. 7.31			〃			
46	三宅 芳郎	S 46. 7.31 S46. 8. 1	広井 正路	S46. 8.27			〃			
47	〃		〃					S47. 6.30		
48	〃		〃	S49. 6. 5			岩辺 清麿	S48. 8.12		
49	〃	S 50. 3.31	佐藤 温	S49. 6. 6			〃			
50	山崎 英顕	S 50. 4. 1	〃				〃	S51. 4. 9		
51	〃	S 52.12.19	〃				藤尾 仁彌	S51. 5. 1		
52	小林 悦夫	S 52.12.24	〃				〃			
53	〃		〃	S54. 6.30			〃			
54	〃	S 55. 3.31	小西 弘治	S54. 7. 1			〃			
55	村上 道雄	S 55. 4. 1	〃					S55. 3.19		
56	〃		〃							
57	〃	S 58. 7.31	〃	S58. 8. 4						
58	永井 滋輔	S 58. 8. 1	長谷川義明	S58. 8. 5			安河内正始	S58. 5. 1		
59	〃	S 60. 3.31	〃	S60. 6. 4			〃	S60. 4.30		
60	近藤栄次郎	S 60. 4. 1 S 61. 7.18	浦上 和彦	S60. 6. 5			宮元 止男	S60. 5. 1		
61	大塚 金久	S 61. 7.19 S 62. 3.31	〃				〃			
62	田中 博明	S 62. 4. 1	〃	S63. 3.31			〃			
63	〃		城戸 義雄	S63. 4. 1				S63. 3.31		
H1	〃	H 2. 3.31	〃							
2	富永 栄一	H 2. 4. 1 H 2. 6. 9	〃				千住 義典	H 2. 4. 1		
3	永井 滋輔	H 2. 6. 1	〃	H 4. 3.30			〃		立山 亘	H 3. 4. 1
4	〃	H 5. 6. 3	宮地 謙一	H 4. 4. 1			〃	H 5. 3.31	〃	H 5. 6.30
5	富永 栄一 富永 恒孝	H 5. 7. 1-H 5. 7. 8 H 5. 7. 9	〃	H 6. 7.15	立山 亘	H 5. 7. 1 H 6. 3.31	東 日出喜	H 5. 4. 1	内村 明	H 5. 7. 1 H 6. 3.31
6	〃	H 7.10.31	社本 孝夫	H 6. 7.16	内村 明	H 6. 4. 1	〃	H 7. 3.31	片山 繁文	H 6. 4. 1
7	池田 幸雄	H 7.11. 1	〃		〃		皆川 善孝	H 7. 5. 1	〃	

	常務理事		常任監事		監事（福岡県出納長）		監事（久留米市長）			
	氏名	任期	氏名	任期	氏名	任期	氏名	任期		
S40	笠原 宗将	S37. 8.21			柴田 節郎	S38. 3. 1	桑野 寿助	S40. 2. 4	吉田 法晴	S38. 6.19
41						S42. 3.31		S42. 8. 9		S42. 3.14
42		S42. 8.11			浜田 誠	S42. 8.12 S43. 3.31	小田部善次郎	S42. 8.10	井上 義人	S42.12. 1
43	浜田 誠	S43. 4. 1			今野 皓	S43. 4. 1				
44	〃									
45	〃					S46. 8.11				S46. 2. 6
46	〃	S47. 3.31	柴田 文雄	S46. 9. 1	柴田 文雄	S46. 8.12 S46. 8.31 S46. 9. 1 S48. 8.11		近見 敏之		S46. 2. 7
47	岩辺 清麿	S47. 4.10 S48. 8.11	〃		中島 一男	S48. 8.11				
48	中島 一男	S48. 8.12	〃		佐藤 哲	S48.11. 1				
49	〃	S50. 8.11	〃	S50. 8.11		S50. 3.31		S50. 8.11		
50	佐藤 正成	S50. 8.12	藤尾 仁彌	S50. 8.12 S51. 4.30	佐藤 正成 福井 一二三	S50. 4. 5-S50. 8.11 S50. 8.12-S51. 3.31	広末 賢一	S50. 8.12		
51	〃		福井 一二三	S51. 4. 1	高口 榮造	S51. 4. 2				
52	〃	S52. 4.16	〃							
53	〃		〃	S54. 3. 1		S54. 4.15		S54. 7.18		
54	〃		高口 榮造	S54. 4.16	堀 博	S54. 4.16	大嶋 亮介	S54. 7.19		
55	菅 恭三	S55. 3.20		S55. 3.19						
56	〃		権藤 茂	S55. 4. 1 S56. 7.20		S57. 3.31				
57	〃		堀 博	S57. 4. 1 S58. 5. 2	福澤 正一	S57. 6. 1				
58	〃	S58. 4.30	川浪 武則	S58. 5. 3		S59. 3.31		S58. 4.22		
59	〃		〃		吉開 信一	S59. 4. 2	近藤栄次郎	S59. 4.10 S59.10.16		
60	福島 照美	S60. 4. 1		S60. 4.30			林 照雄	S59.10.29		
61	〃							S62.10. 9		S62. 2. 6
62	〃	S62. 4.27				S63. 4. 1	池田 幸雄	S62.11.10	谷口 久	S62. 2.17
63	田崎 輝彦	S63. 4. 1	白石 一	S63. 4. 1	伊藤 昌廣	S63. 4. 2				
H1	〃		〃							
2	〃			H 2. 3.31						
3	〃	H 3. 3.31								
4	〃					H 5. 4. 1				
5	〃				上田 敏晴	H 5. 4. 2				
6	〃							H 7. 8.21		H 7. 3.10
7	〃						太田 清忠	H 7. 8.22	白石 勝洋	H 7. 3.11

# DATA



## 30年の実績

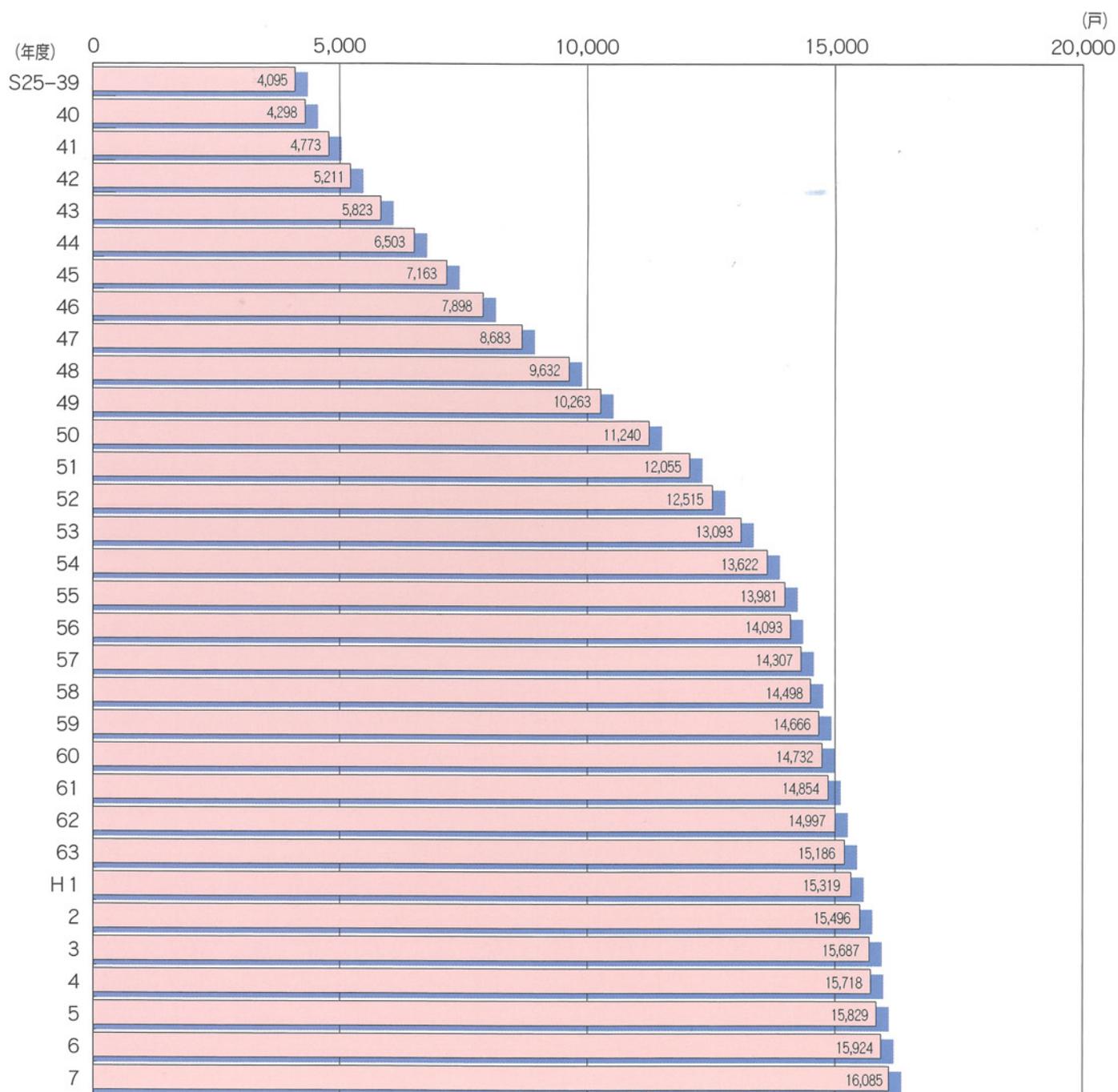
子供達も成長し、それぞれ独立した。家族4人では狭いと感じた我が家も、今は妻と2人少し広すぎるようにも思う。今までいろんなことがあった。この家には、家族の思い出や歴史がいっぱい詰まっている。この家も一緒に年を重ねてきたのだ。そう思って我が家を眺めてみると、ふとやさしい気持ちになった。

# 住宅等建設実績

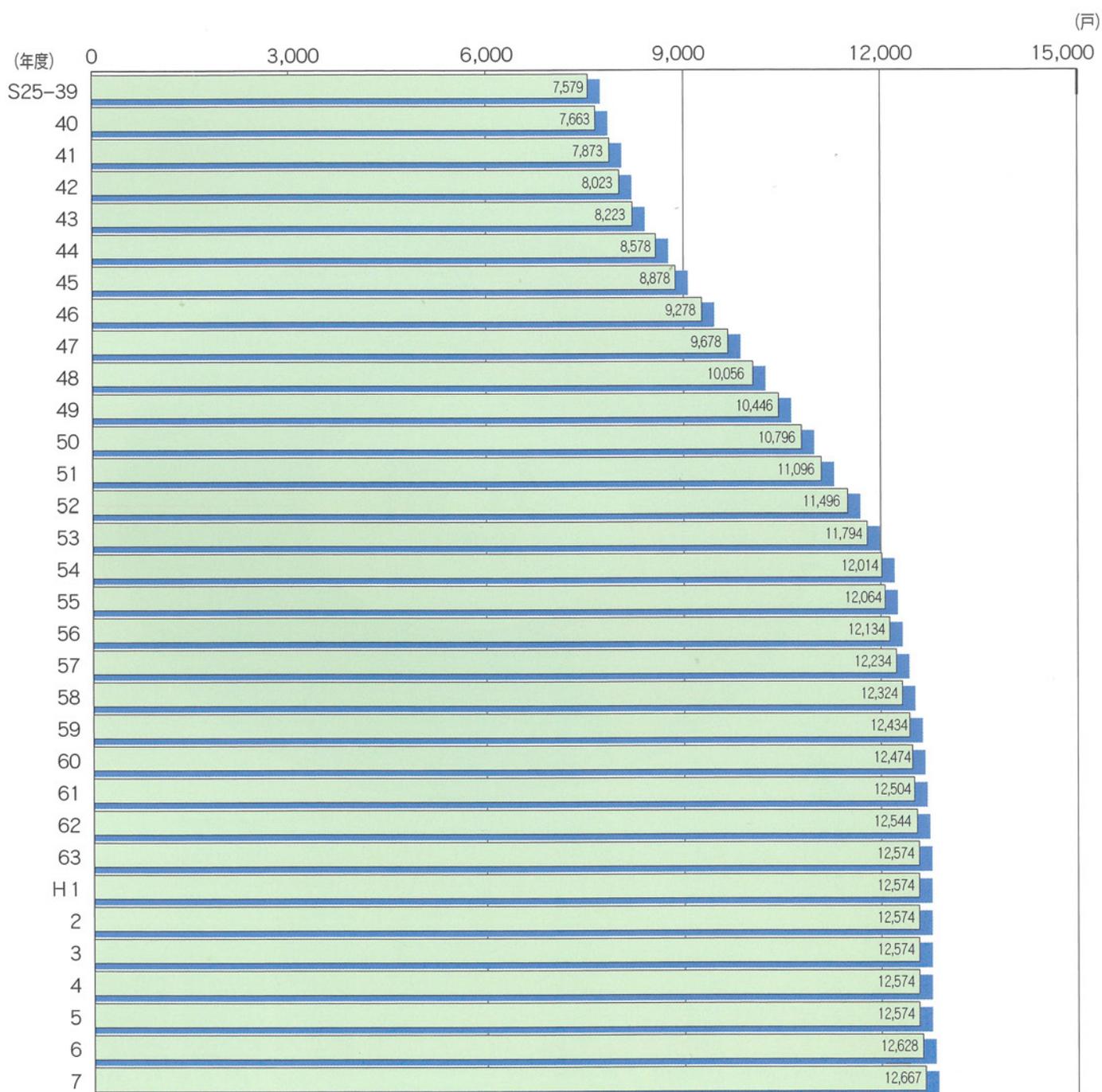
年度	25~39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53
賃貸住宅	7,443戸	72	160	150	200	355	300	400	400	378	390	350	300	400	298
勤労青年 共同宿舎	人室		64	200	40	260	200	200		40	60	100	100	60	60
土地担保 賃貸住宅	106戸	42	50												
積立 分譲住宅	戸		212	203	320	350	370	345	398	341	100	340	240	171	96
一般 分譲住宅	4,002戸	203	263	235	292	330	290	390	387	608	531	637	575	289	482
産業労働者 分譲住宅	戸		93			80									
産業労働者 住宅	1,497戸 755人	188 163	59 138	24 124	75 282	27 94	58 150	16		18 32	12				
中高層住宅 非住宅	277戸 390人 1,421m <sup>2</sup>	50 1,039					4,624 2,860	307	5,550			3,807	1,124		
農山漁村 住宅	1,779戸	125	2												
その他	269戸 区画				52	123									
計	15,373戸 1,145人 室 1,421m <sup>2</sup> 区画	680 163	839 202	612 324	887 322	1,142 354	1,018 350	1,151 200	1,185	1,345 72	1,033 60	1,327 100	1,115 100	860 60	876 60

54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7	総計
220	50	70	100	90	110	40	30	40	30						54	39	12,469戸
																	1,004人 380室
																	198戸
108	36	61	148	35	63	40	12	3	12	20	54	37	21	19	18	24	4,197戸
421	323	51	66	156	105	26	110	140	177	113	123	154	10	92	77	137	11,795戸
																	173戸
																	1,974戸 1,738人
																	327戸 390人 24,342m <sup>2</sup>
																	1,906戸
																	269戸 175区画
749	409	182	314	281	278	106	152	183	219	133	177	191	31	111	149	200	33,308戸 3,132人 380室 24,342m <sup>2</sup> 175区画

# 分譲住宅の建設実績

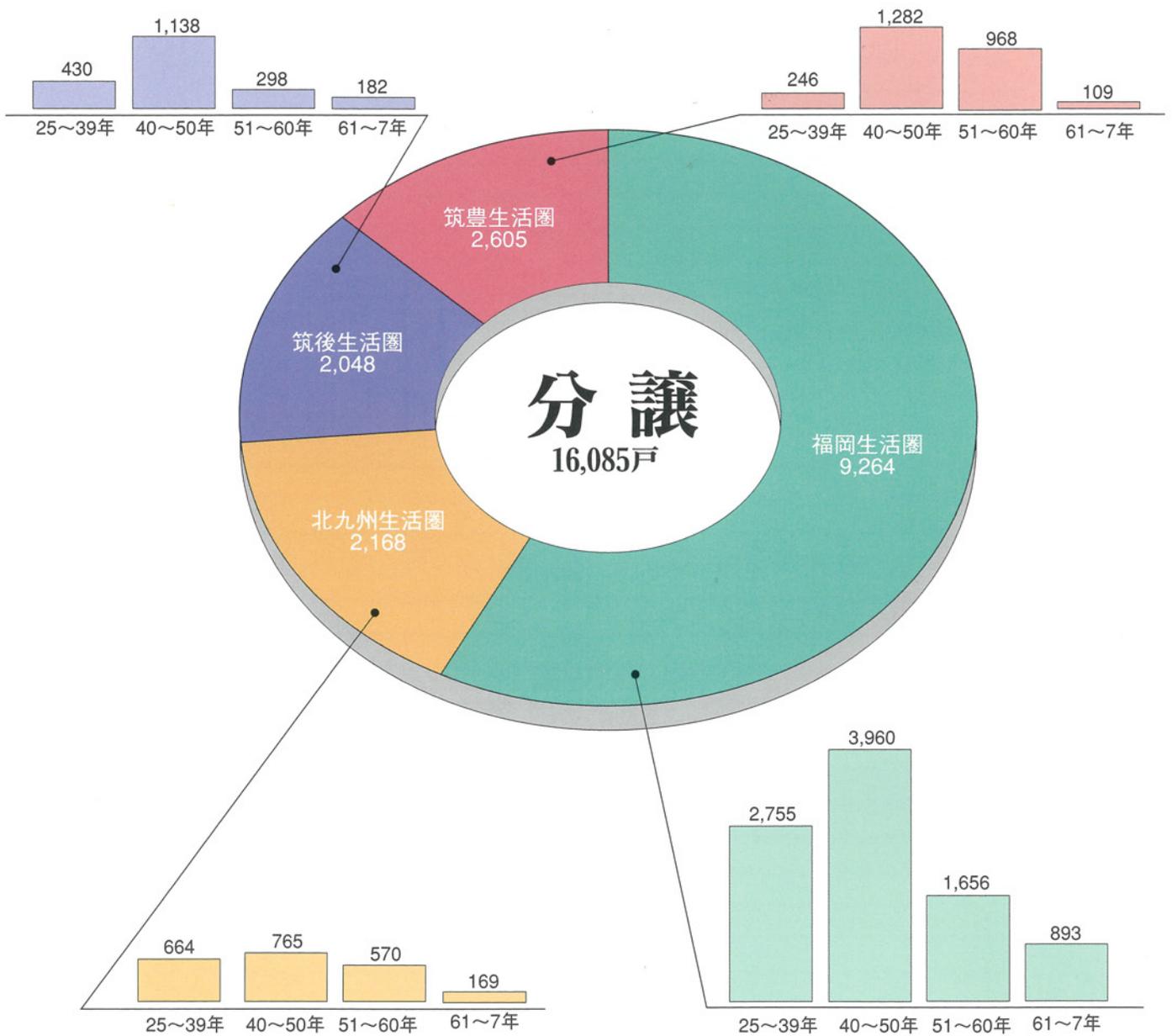


# 賃貸住宅の建設実績

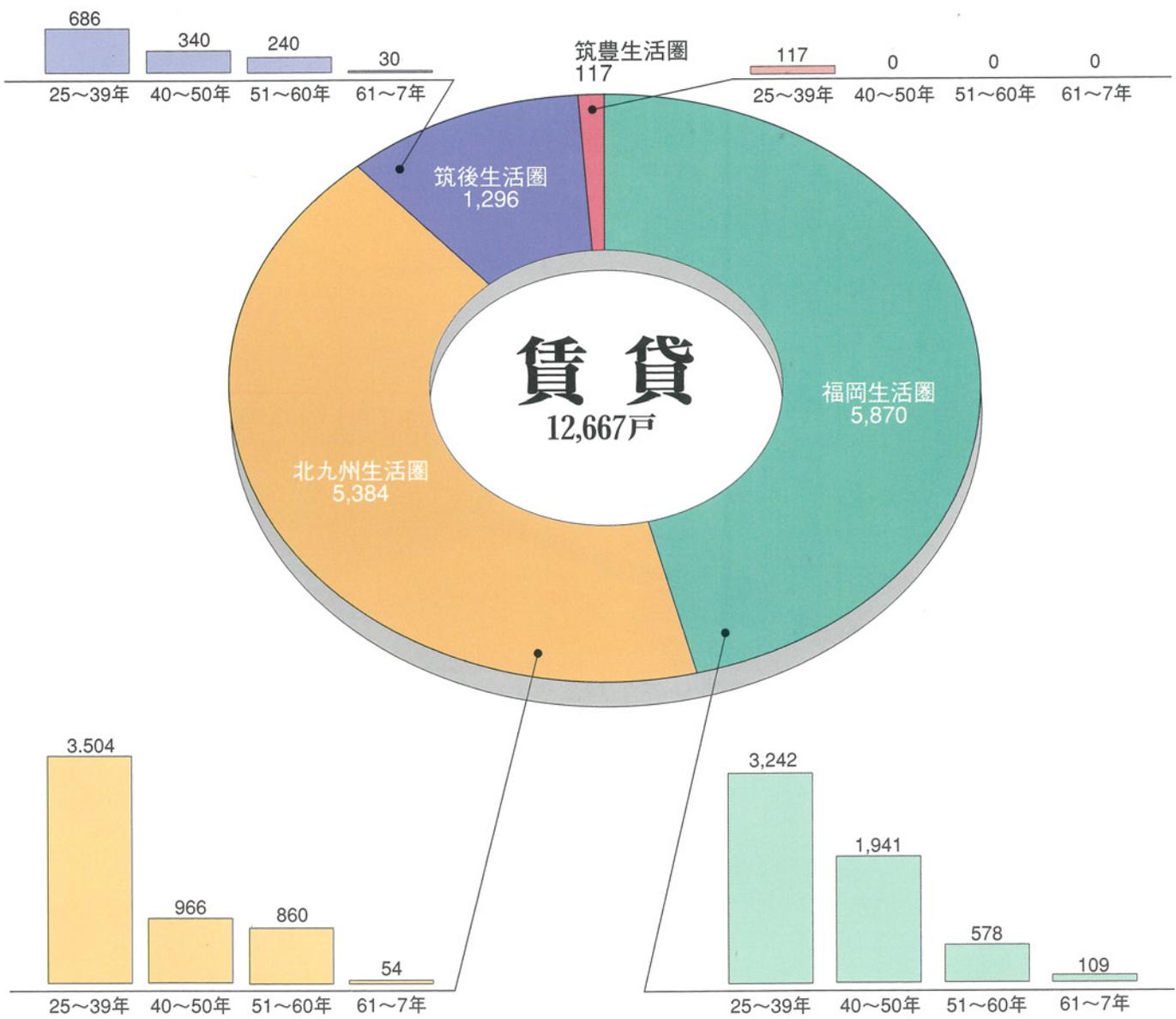


# 生活圏別 分譲・賃貸住宅戸数建設実績

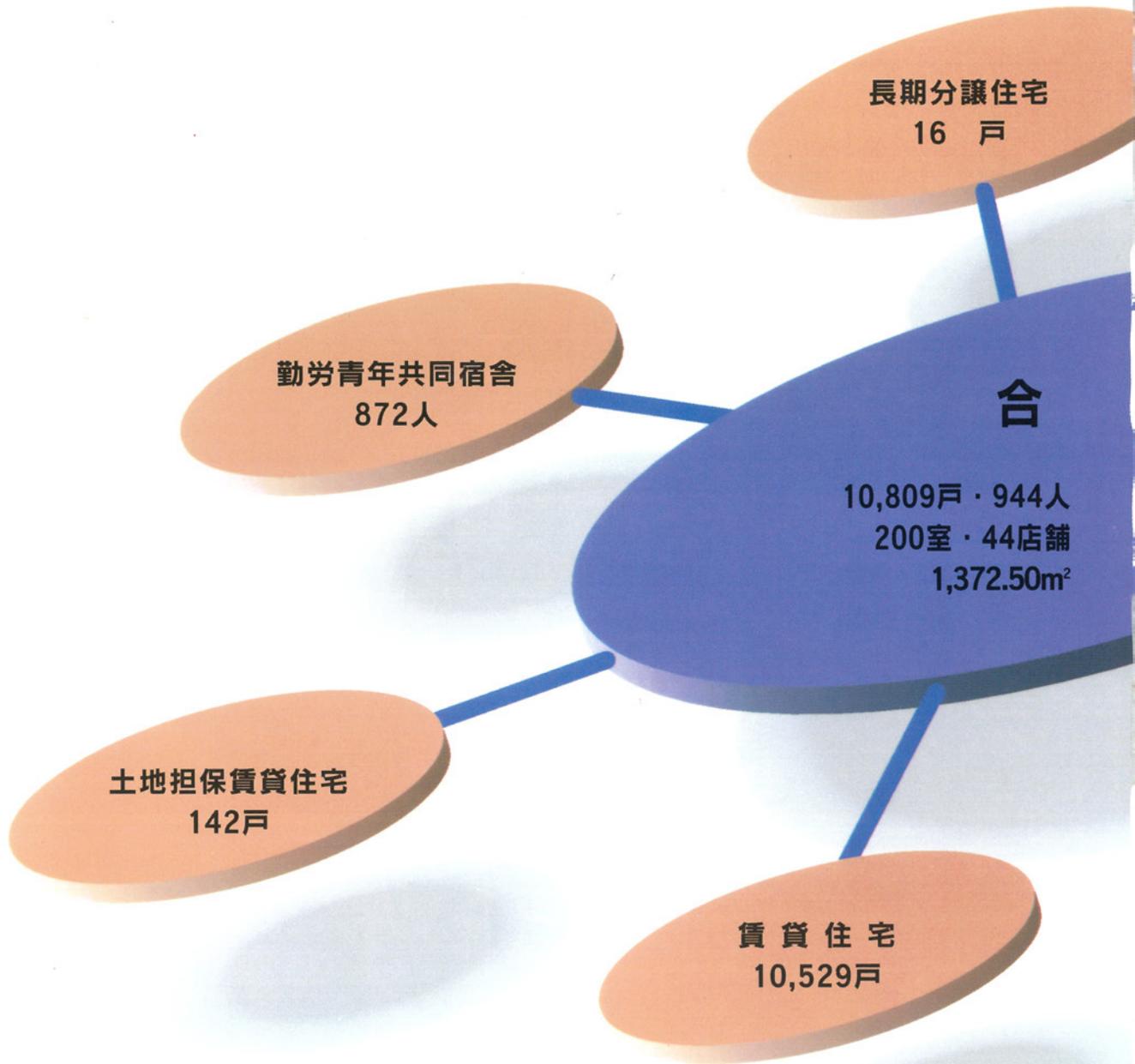
## 生活圏別分譲住宅建設戸数

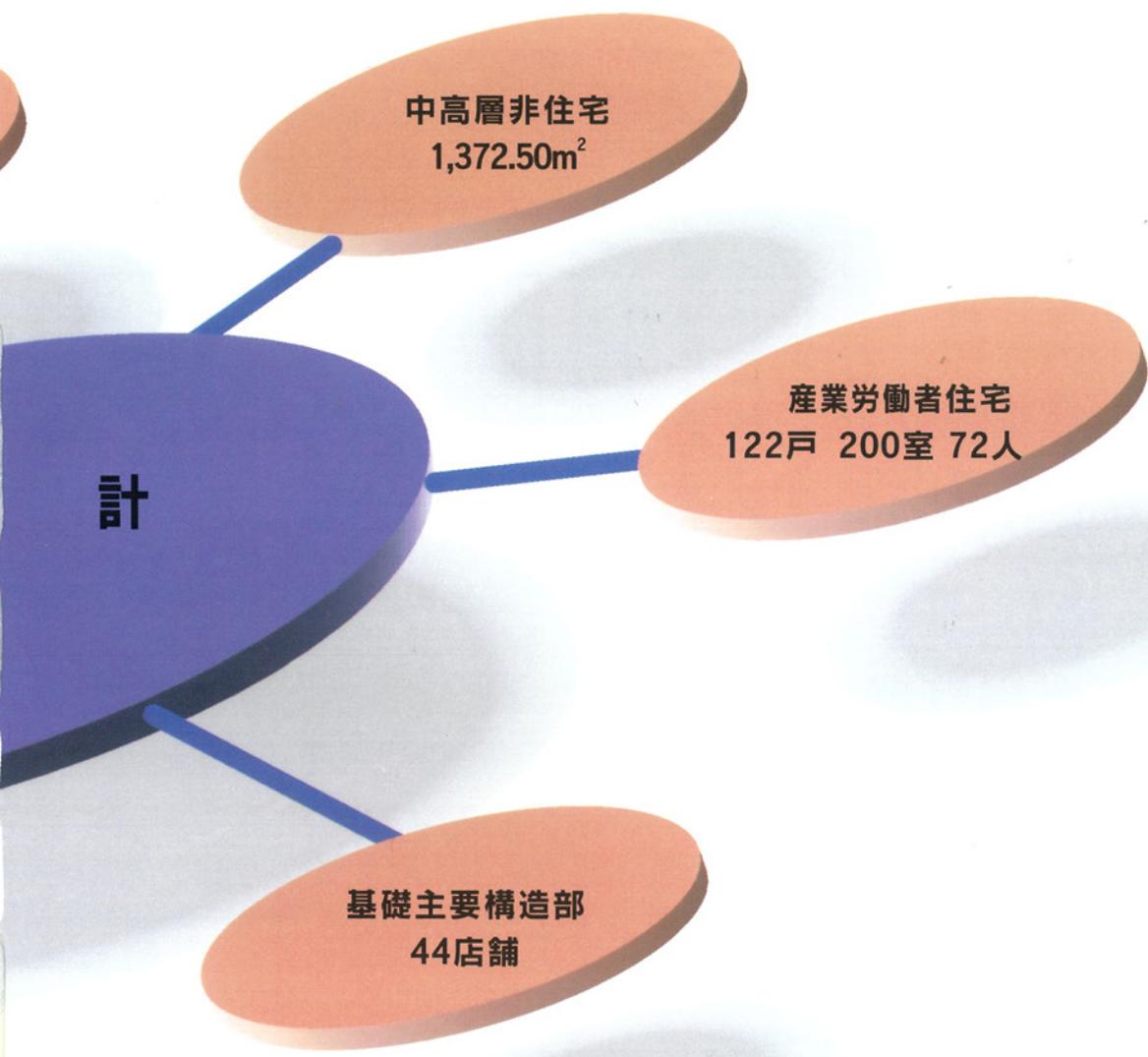


## 生活圏別賃貸住宅建設戸数

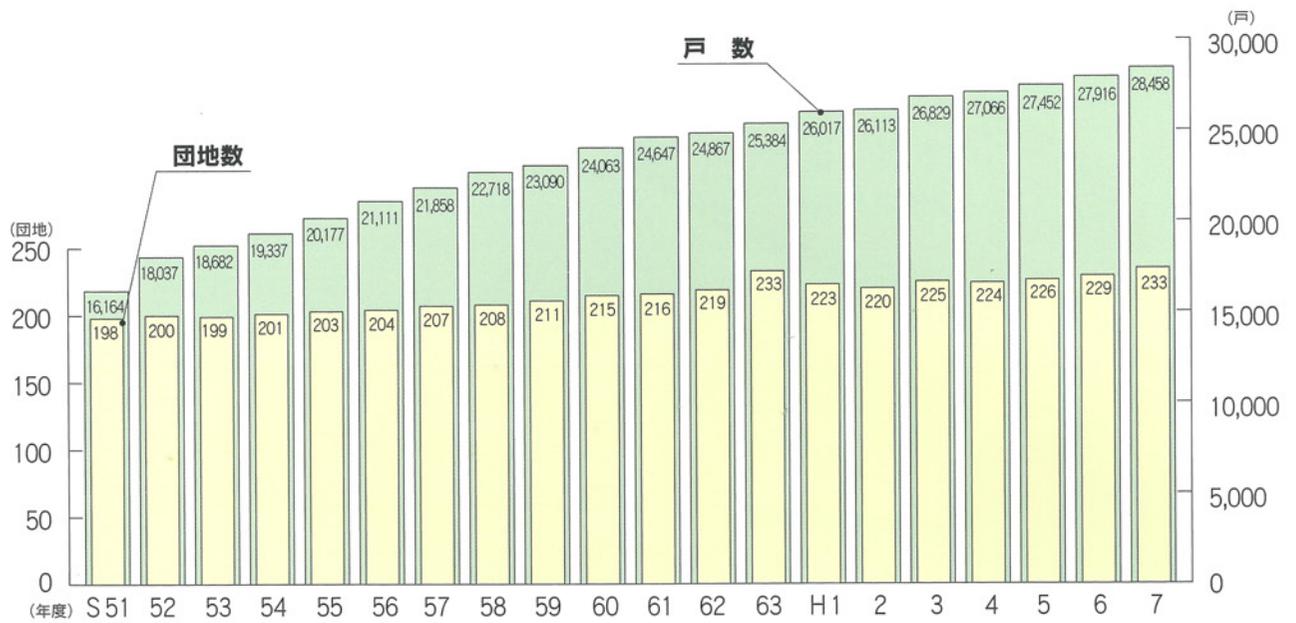


# 住宅等管理狀況

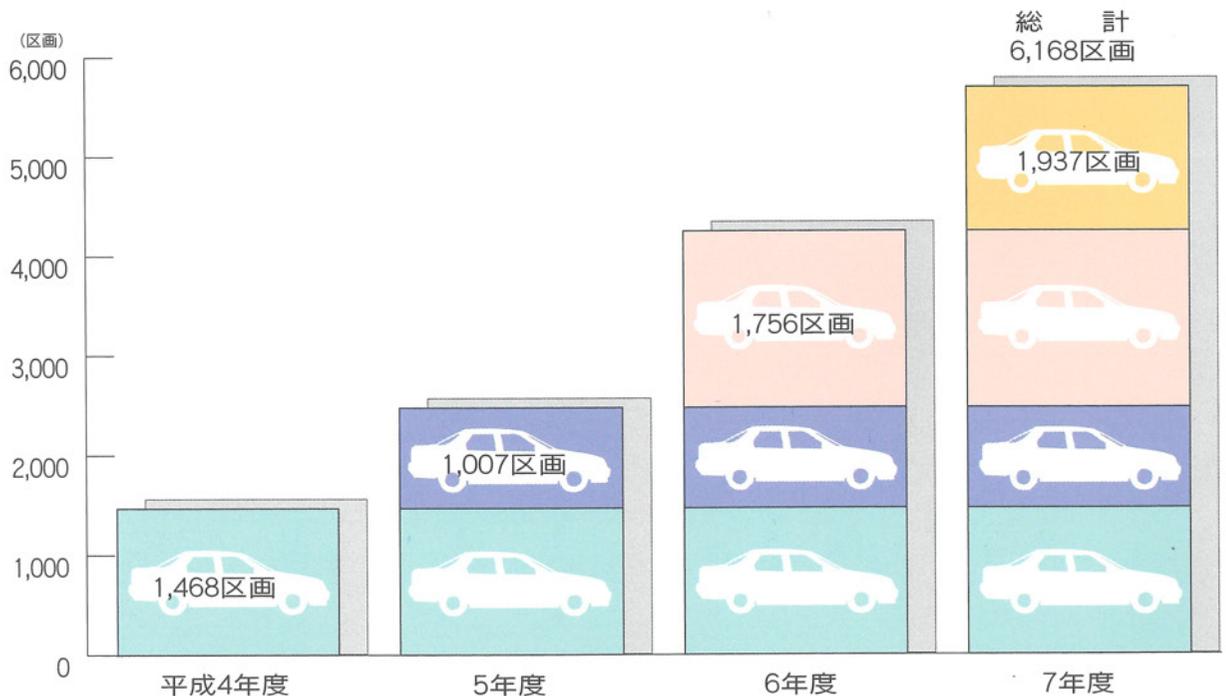




# 県営住宅管理戸数

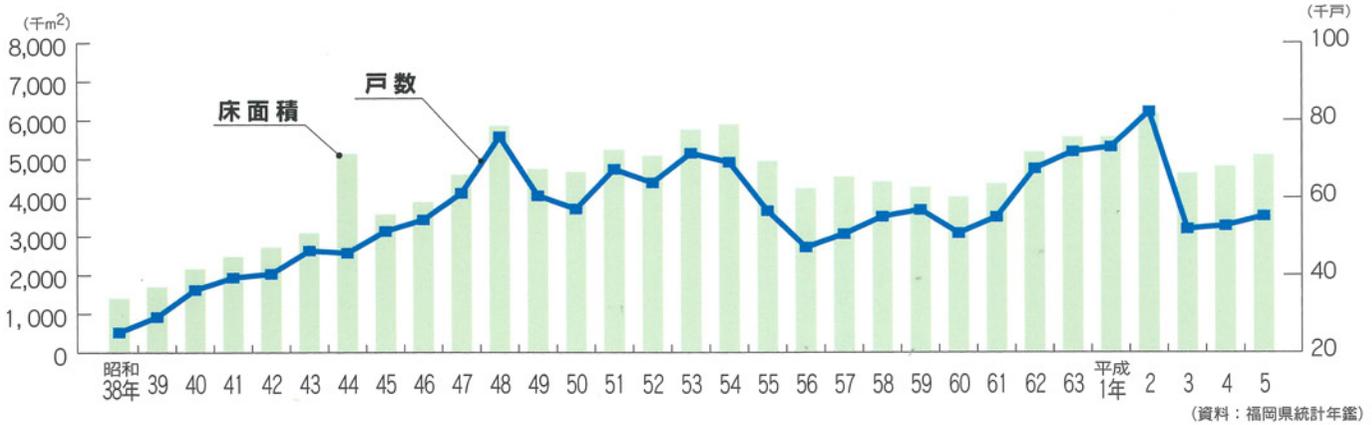


# 県営住宅駐車場管理区画数



# 福岡県の住宅関連市場

## 福岡県の新設着工住宅数の推移



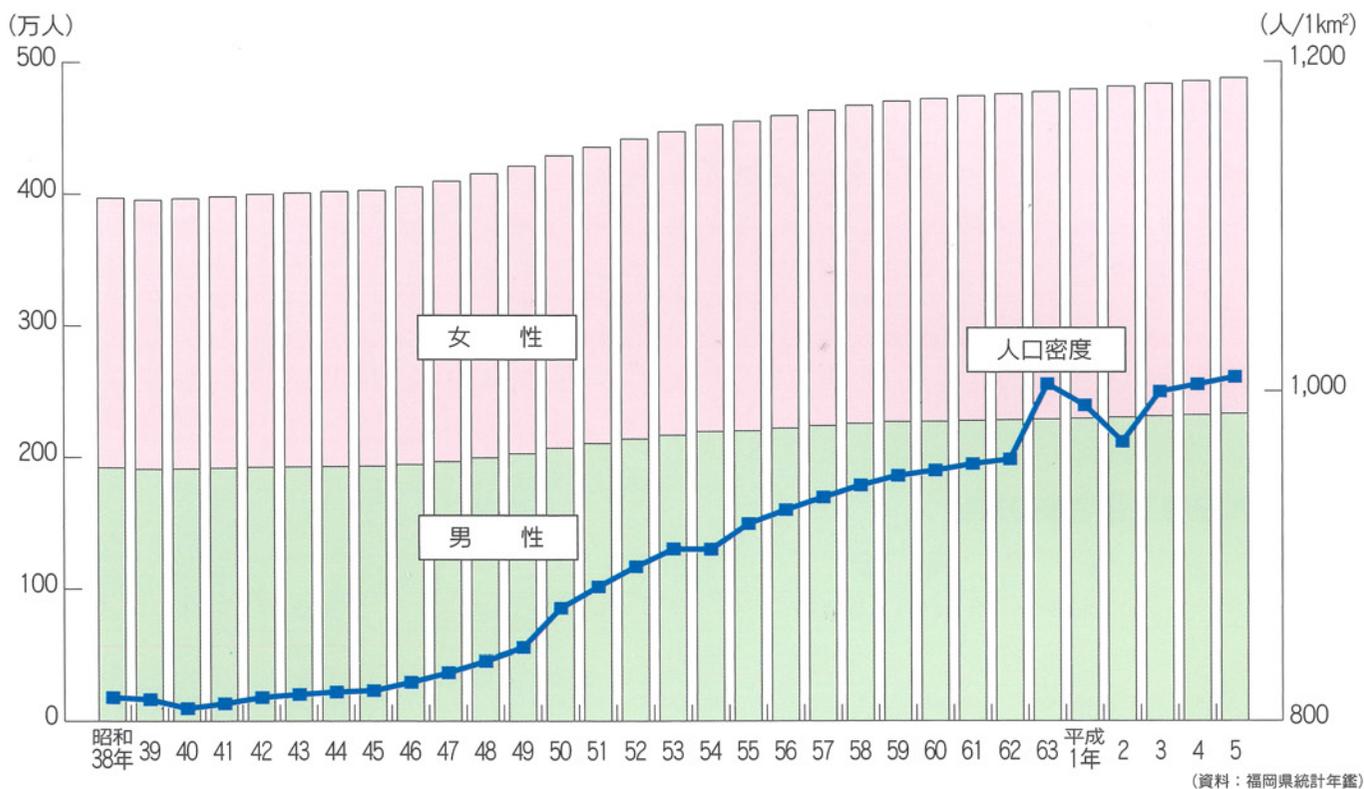
## 利用別新設着工住宅数の推移

年	総 数		持 家		貸 家		給与住宅		その他／分譲住宅	
	戸 数	床面積	戸 数	床面積	戸 数	床面積	戸 数	床面積	戸 数	床面積
昭和38年	25,131	1,401,801	12,381	901,003	10,296	356,005	1,947	107,749	507	37,044
39	29,115	1,702,579	13,283	1,031,440	13,044	492,727	2,031	135,991	757	42,483
40	36,132	2,159,798	16,308	1,312,754	16,033	617,219	2,259	138,145	1,532	91,680
41	39,332	2,485,152	17,581	1,496,952	18,211	772,995	2,118	134,327	1,422	80,878
42	40,294	2,731,134	20,172	1,784,454	15,558	667,364	2,257	141,434	2,307	137,882
43	46,302	3,101,105	21,043	1,908,818	20,749	919,974	2,034	123,389	2,476	148,924
44	45,689	5,153,155	20,897	1,951,273	20,168	930,470	2,599	156,922	2,025	114,490
45	51,315	3,577,740	22,230	2,114,315	23,770	1,125,939	2,311	153,965	3,004	183,521
46	54,250	3,892,661	23,486	2,267,893	24,085	1,167,493	1,871	132,576	4,808	324,699
47	61,125	4,595,983	24,279	2,461,162	28,194	1,487,129	2,290	181,847	6,362	474,845
48	75,737	5,862,105	27,268	2,870,119	31,169	1,666,876	2,166	180,171	15,134	1,144,939
49	60,472	4,745,586	24,611	2,570,385	20,765	1,055,775	2,526	169,042	12,570	950,384
50	57,043	4,660,796	24,558	2,623,639	20,886	1,143,890	1,435	115,209	10,164	778,058
51	67,312	5,250,043	23,712	2,627,450	29,973	1,572,752	1,528	108,912	12,099	940,929
52	63,808	5,087,850	22,554	2,541,768	26,841	1,422,860	1,298	94,239	13,115	1,028,983
53	71,443	5,764,581	25,825	2,955,973	29,662	1,594,174	958	74,239	14,998	1,140,195
54	69,140	5,895,965	26,468	3,143,314	26,936	1,473,319	857	62,115	14,879	1,217,217
55	56,573	4,942,487	22,241	2,644,299	20,857	1,153,181	797	60,435	12,678	1,084,572
56	47,124	4,237,070	20,991	2,528,507	16,880	911,018	643	55,847	8,610	741,698
57	50,545	4,538,345	22,900	2,795,822	18,046	953,582	705	57,466	8,894	731,475
58	55,021	4,416,333	18,743	2,295,122	24,439	1,193,528	492	45,329	11,347	882,354
59	56,762	4,259,466	18,124	2,232,166	25,499	1,159,727	600	51,741	11,539	815,832
60	50,718	4,020,549	17,905	2,205,488	22,362	1,028,622	532	42,851	9,919	743,588
61	54,905	4,359,332	19,161	2,396,329	26,197	1,214,761	633	51,861	8,914	696,391
62	67,433	5,175,272	21,582	2,775,820	34,476	1,517,003	586	41,663	10,789	840,786
63	71,787	5,560,426	19,854	2,587,493	35,719	1,720,682	642	44,863	15,572	1,207,388
平成1年	73,030	5,567,164	19,242	2,559,887	35,150	1,586,013	554	43,333	18,084	1,377,931
2	82,113	6,164,349	20,015	2,698,613	37,153	1,607,006	794	54,117	24,151	1,804,613
3	51,851	4,619,620	17,260	2,354,869	18,960	914,426	820	63,147	14,811	1,287,178
4	52,649	4,812,075	19,660	2,702,001	19,954	1,027,023	74	52,189	12,290	1,030,862
5	55,158	5,093,548	20,130	2,788,949	21,454	1,159,015	808	49,069	12,766	1,096,515

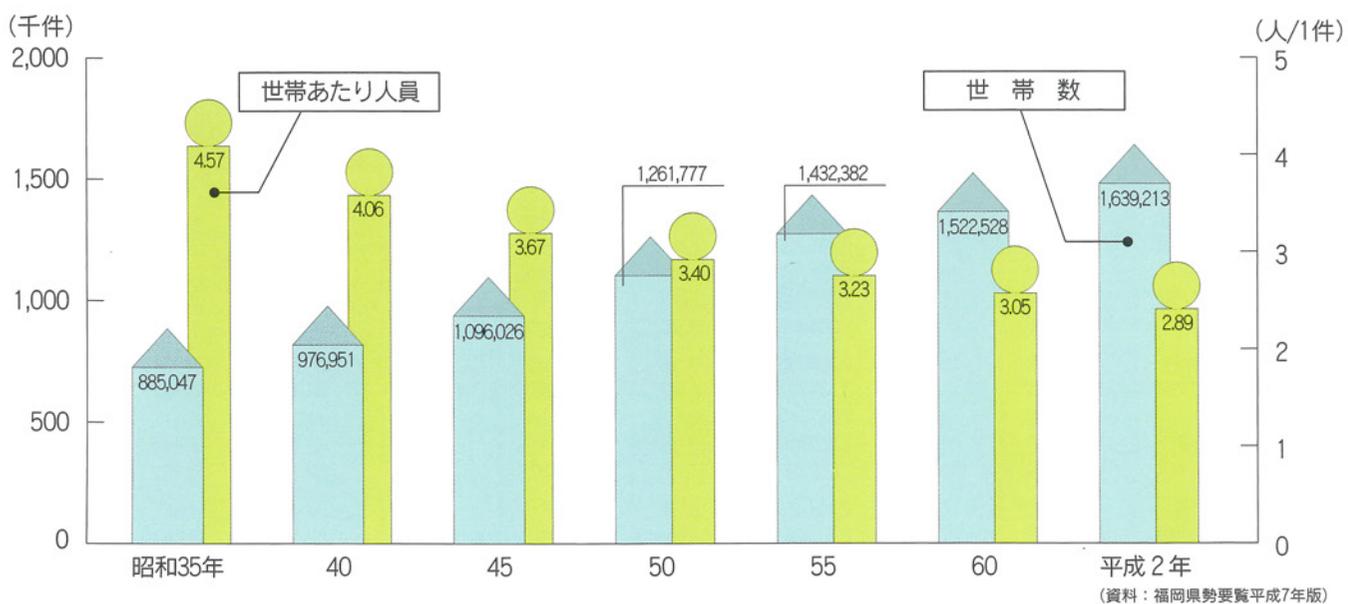
※「その他／分譲住宅」は、昭和38～48年が「その他」、昭和49～平成5年が「分譲住宅」の統計数値。

(資料：福岡県統計年鑑)

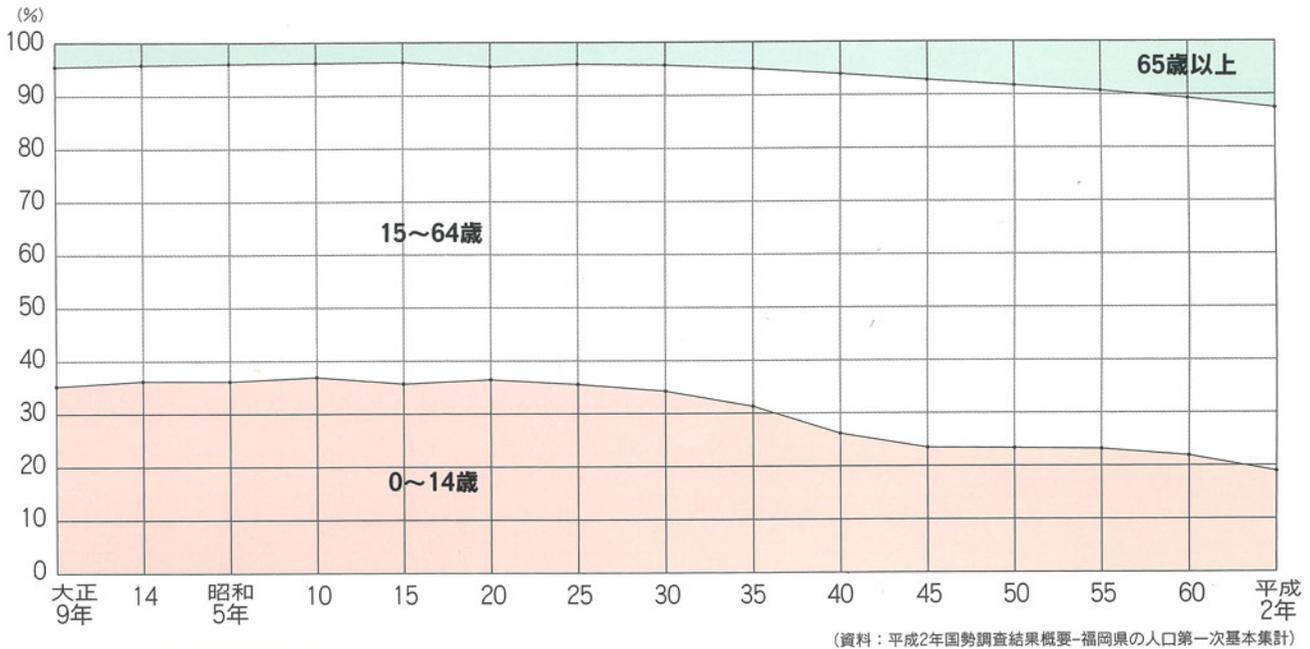
## 福岡県の人口の推移



## 福岡県の世帯数と世帯あたり人員の推移



## 福岡県の年齢(3区分)別人口の推移



## 福岡県の人口構造の将来推計

区分	総人口	年齢3区分別人口					
		0～14歳		15～64歳		65歳以上	
		年少人口	割合	生産年齢人口	割合	老年人口	割合
昭和45年	4,027,416	943,395人	23.4%	2,791,505人	69.3%	292,516人	7.3%
50年	4,292,963	1,002,084	23.3	2,933,745	68.3	354,847	8.3
55年	4,553,461	1,049,782	23.1	3,073,049	67.5	426,495	9.4
60年	4,719,259	1,028,211	21.8	3,190,270	67.6	499,228	10.6
平成2年	4,811,050	910,356	18.9	3,287,878	68.3	597,869	12.4
7年	4,984,834	917,871	18.4	3,344,719	67.1	722,241	14.5
12年	5,130,787	960,794	18.7	3,321,574	64.7	848,418	16.5
17年	5,263,312	1,029,607	19.6	3,286,396	62.4	947,309	18.0
22年	5,349,652	1,055,334	19.7	3,253,075	60.8	1,041,243	19.5
27年	5,383,959	1,023,222	19.0	3,182,235	59.1	1,178,502	21.9
32年	5,387,311	977,351	18.1	3,168,486	58.8	1,241,470	23.0
37年	5,389,051	971,413	18.0	3,182,968	59.1	1,234,672	22.9

※平成2年までの数値は国勢調査、平成7年以降は九州経済調査協会推計による。

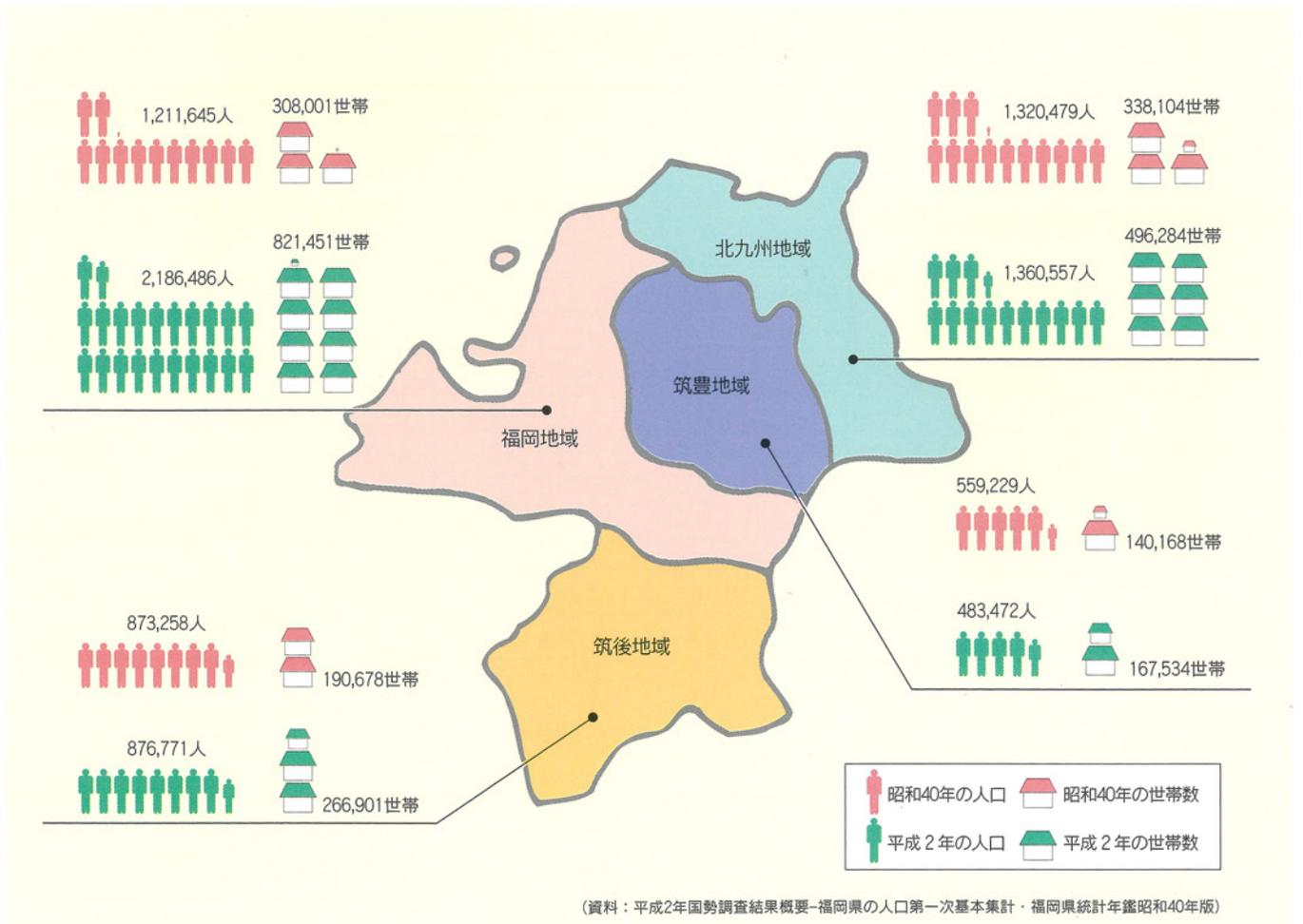
(資料：福岡県すこやかライフプラン平成元年版/平成6年版)

## 福岡県の地域別人口と世帯

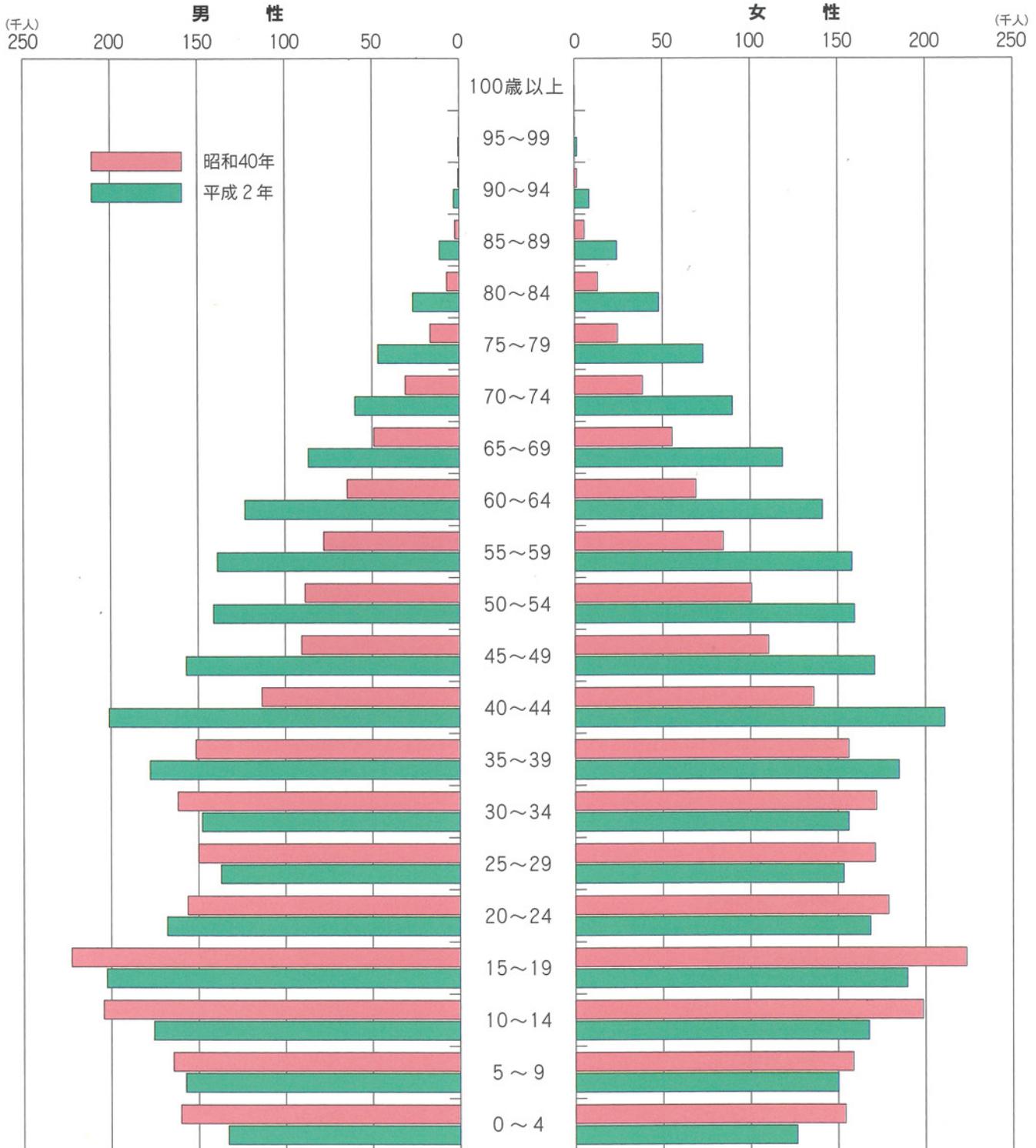
	世帯数 件	世帯平均 世帯人員 人/件	人 口				面 積 km <sup>2</sup>	人口密度 人/km <sup>2</sup>
			総 数 人	男 性 人	女 性 人	外 国 人 人		
福 岡 県	1,752,170	2.80	4,907,286	2,328,581	2,546,398	32,307	4,966.75	988.0
福 岡 地 域	821,451	2.66	2,186,486	1,052,733	1,119,266	14,487	1,531.09	1,428.1
筑 後 地 域	266,901	3.29	876,771	412,824	461,576	2,371	1,293.58	677.8
筑 豊 地 域	167,534	2.89	483,472	223,500	256,757	3,215	984.47	491.1
北九州地域	496,284	2.74	1,360,557	639,524	708,799	12,234	1,157.61	1,175.3

(資料：平成2年国勢調査結果概要-福岡県の人口第一次基本集計)

## 人口と世帯の地域分布



## 福岡県の年齢別人口構成



(資料：福岡県統計年鑑平成5年版)

---

THE THIRTIETH ANNIVERSARY  
**1965~1995**

福岡県住宅供給公社 30周年記念誌

---

 **福岡県住宅供給公社**

〒810 福岡市中央区天神5丁目3番1号

TEL092-781-8010

